

2章 会津美里町の観光に関する現状と課題

1. 町の観光の現状

1) 地域資源・既存観光施設の把握

①町内資源の把握

- ・町内の地域資源及び既存観光施設について、項目ごとにリストアップし、地図上(p28)に示す。
- ・なお、町及び関係者提供資料、事業者ヒアリング、平成26年度観光動向調査検討委員会の成果、会津美里町第3次総合計画町民ワークショップ結果、webサイトによる情報を元に整理した。

※【「町」や「まち」の表記について】本計画では、会津美里町全体や行政区域内を示す場合は「町」と表記し、特定の行政区域に限定されない地域や界隈を示す場合や、慣例的な表現（まちづくり等）の場合は「まち」と表記する。

A. 自然、景観

- ・「会津五桜」の薄墨桜や虎の尾桜等をはじめ、町内には多数の桜の名所が点在するほか、伊佐須美神社のあやめ、フジ、龍興寺の蓮など花の見所が多く立地する。菜の花や赤そばなど、地域活動により生まれた花の名所も見られる。
- ・林野庁の「水源の森100選」に選定された蓋沼周辺の森林や池には、福島県指定天然記念物のモリアオガエルや浮島等の希少動植物が生息している。また、町内の里山にホタルが生息している。
- ・会津盆地に位置する本町では、町内全域で会津らしい田園風景が広がり、磐梯山、飯豊山等の百名山を有する山並みを見ることができる。また、新鶴地域の丘陵地帯には、ぶどう畑の風景が広がっている。一方、冬季は積雪が多く盆地一帯が雪景色となる。

分類		資源
自然、景観	花	米沢の千歳桜 宮川の千本桜 知恵桜（文殊院） 虎の尾桜（法用寺） 向羽黒山城跡の桜 薄墨桜（伊佐須美神社） 神代桜（伊佐須美神社） 種蒔桜（馬ノ墓） 古御田の桜（大沼高校グラウンド内） あやめ苑（伊佐須美神社） 伊佐須美神社のフジ 蓮池（龍興寺華芳香園） 菜の花畑（八木沢地区） 赤そばの花畑（尾岐地区）

分類		資源
	動植物	蓋沼の浮島 モリアオガエル ホタル
	風景、眺望	田園風景 新鶴の丘陵地の風景 磐梯山、飯豊山と、山並み こぶしライン付近 主要幹線道路沿いの水と景観のスポット 向羽黒山城跡からの眺望 蓋沼森林公園からの眺望 雪・雪景色



米沢の千歳桜



八木沢の菜の花畑



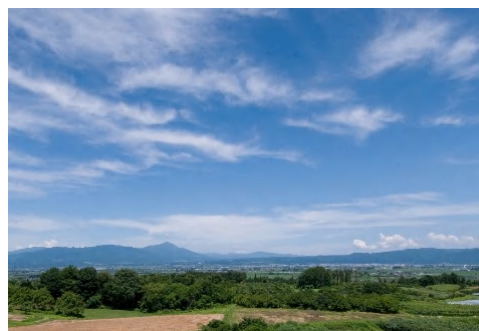
水田風景（蓋沼森林公園からの眺望）



あやめ苑



蓋沼の浮島



新鶴丘陵地帯

B. 歴史、産業

- ・会津発祥の地の由来を持ち、現在御社殿を造営中の伊佐須美神社が立地する他、天海大僧正生誕の地として、ゆかりの寺等が高田地域に点在している。また、高田～新鶴地域に至る町の山側には、会津こもり三観音の中田観音や三重塔を有する法用寺など、会津の古刹が立地している。また、本郷地域には、天海大僧正の母親の実家である葦名氏が戦国時代に築城した山城である向羽黒山城跡があるなど、多くの歴史資源を有している。
- ・本郷地域の瀬戸町周辺には、伝統的工芸品に指定されている会津本郷焼の13の窯元が点在し焼物の里を形成しており、登り窯も2棟現存している。

分類	資源
歴史文化	天海大僧正 伊佐須美神社 法用寺（雷電山法用寺） 中田観音（普門山弘安寺） 龍興寺（道樹山龍興寺） 文殊堂（護国山文殊院清龍寺） 法幢寺（廣田山法幢寺） 田子薬師堂（常福院田子薬師堂） 富岡観音（日用山福生寺） 左下り観音堂（左下山観音寺） 会津三十三観音（町内は10の札所） 殺生石稲荷神社

分類	資源
歴史文化	向羽黒山城跡 向羽黒山城跡整備資料室（向羽黒ギャラリー） 下野街道 祈りの道 イザベラバード 戊辰戦争跡地 高田城跡
産業文化	会津本郷焼窯元 登り窯 会津本郷焼資料展示室 陶祖廟（常勝寺）



伊佐須美神社



中田観音



法用寺



会津本郷焼／展示室

C. 観光施設

- ・本町は3つの町営温泉施設のほか、オートキャンプ場やスポーツ施設、自然観察等アウトドアを楽しむことができる施設を有している。温泉施設は老朽化が進んでいる。
- ・宿泊施設は、町営の新鶴温泉ほっとぴあ新鶴をはじめ、町内で計7軒あり、収容人員は計170名程度となっている。
- ・特産品等が購入できる物販施設は、高田、本郷、新鶴の各地域に1軒ずつ設置されている。
- ・観光案内施設（インフォメーションセンター）は、高田と本郷にそれぞれ設置されており、観光パンフレットやマップ等による情報提供のほか、観光ガイドの受付等を行っている。
- ・観光で利用できる駐車場は高田地域3カ所、本郷地域1カ所、新鶴地域2カ所の計6カ所設置されている。

分類	資源	
レジャー施設	新鶴温泉健康センター 本郷温泉湯陶里 あやめの湯 せせらぎ公園オートキャンプ場 蓋沼森林公園 ふれあいの森公園	
宿泊施設	宿	新鶴温泉ほっとぴあ新鶴 会津野ユースホテル にんじん湯吹上荘 花紋屋旅館 つる屋旅館 割烹旅館吉田屋 螢の宿こぶし荘
	キャンプ場	せせらぎ公園オートキャンプ場 蓋沼森林公園 ふれあいの森公園 会津いろり山

分類	資源
物販施設	美里蔵 会津本郷陶磁器会館 産直市 ふるさと観光物産館
観光案内	本郷インフォメーションセンター／まちの駅 会津美里 高田インフォメーションセンター まちの駅 焼物体験の駅（流紋焼） まちの駅 にいつる（新鶴温泉ほっとぴあ新鶴）
観光駐車場	瀬戸町駐車場 あやめ苑駐車場 門前町1号、2号駐車場 上町駐車場 ※大型バス不可 新鶴駅前駐車場 根岸駐車場



新鶴温泉健康センター
／ほっとぴあ新鶴



せせらぎ公園
オートキャンプ場



美里蔵

D. 食、人材等

- ・会津盆地の気候や地理的特性から、質の高い米、美味しい野菜や果実などを季節ごとに味わうことができる。
- ・新鶴地域では、かつてオタネニンジンが広く栽培されていたが、現在は規模が縮小され、代わりに、ぶどう（食用・ワイン用）が栽培されている。特にワインぶどうの品質は高く評価されており、大手醸造事業者と契約している。
- ・加工品では、早炊き加工米や梅漬け等の他、商工会女性部からはじまり現在は民間で販売・製造を引き継いでいるつめっこやき、地域活動団体によるなたね油を使った製品などが見られる。
- ・関山地区、八木沢地区、米田・赤沢地区等では、地域活動に積極的に取り組んでおり、農業等の各種体験や特産品開発などを通して、外部との交流活動も活発である。
- ・合併5周年を記念して、町のイメージキャラクター「あいづじげん」が発案され、町のPR活動等で活用されている。

分類		資源
食、農業	一次品	米 野菜 果実（ぶどう、高田梅、会津身不知柿、りんご等） オタネニンジン えごま
	加工品	ワイン、日本酒（白井酒造、末廣酒造） 早炊き米 高田梅漬 なたね油、えごま油 つめっこやき 高田せんべい
	料理	郷土料理 桜肉 ホルモン
人材、活動		観光ガイド NPO あいづ関山倶楽部 八木沢菜の花会 会津美里西部山麓資源開拓チーム あいづじげん



ワインぶどう



高田梅漬



オタネニンジン



あいづじげん

E. 観光交通インフラ

<道路>

- ・町の北端を磐越自動車道が通っており、町内に位置する新鶴パーキングエリアにはE T C専用のスマートインターチェンジ（スマート I C）が設置されている。上下線共に、終日利用できる。平成 26 年度の利用台数は 317,396 台となっている。
- ・一般道では、国道 401 号が高田地域を通り、会津若松市方面、昭和村方面に通じている。県道は 22 号が会津坂下町、喜多方市方面へ、53 号が柳津町方面へ、128 号が会津若松市方面へ通じている。また、大内宿方面へ通じる県道 131 号は旧下野街道の一部で、「こぶしライン」と呼ばれ、観光周遊ルートとなっている。

<鉄道>

- ・町の東側を通る J R 只見線は、会津若松駅～新潟県魚沼市の小出駅（平成 27 年 11 月現在、一部バス代行輸送）を結び、町内には、会津本郷駅、会津高田駅、根岸駅、新鶴駅の 4 駅がある。これらの駅に停車する列車の運行本数は上下合わせて 1 日あたり 14 本となっている。

<路線バス>

- ・会津バスが 3 路線運行しており、高田（永井野）、本郷（本郷車庫）、新鶴（新鶴温泉）の各地域と会津若松駅を結んでいる。運行本数は各路線、上下線合わせて、1 日あたり 54 本、24 本、8 本となっている。

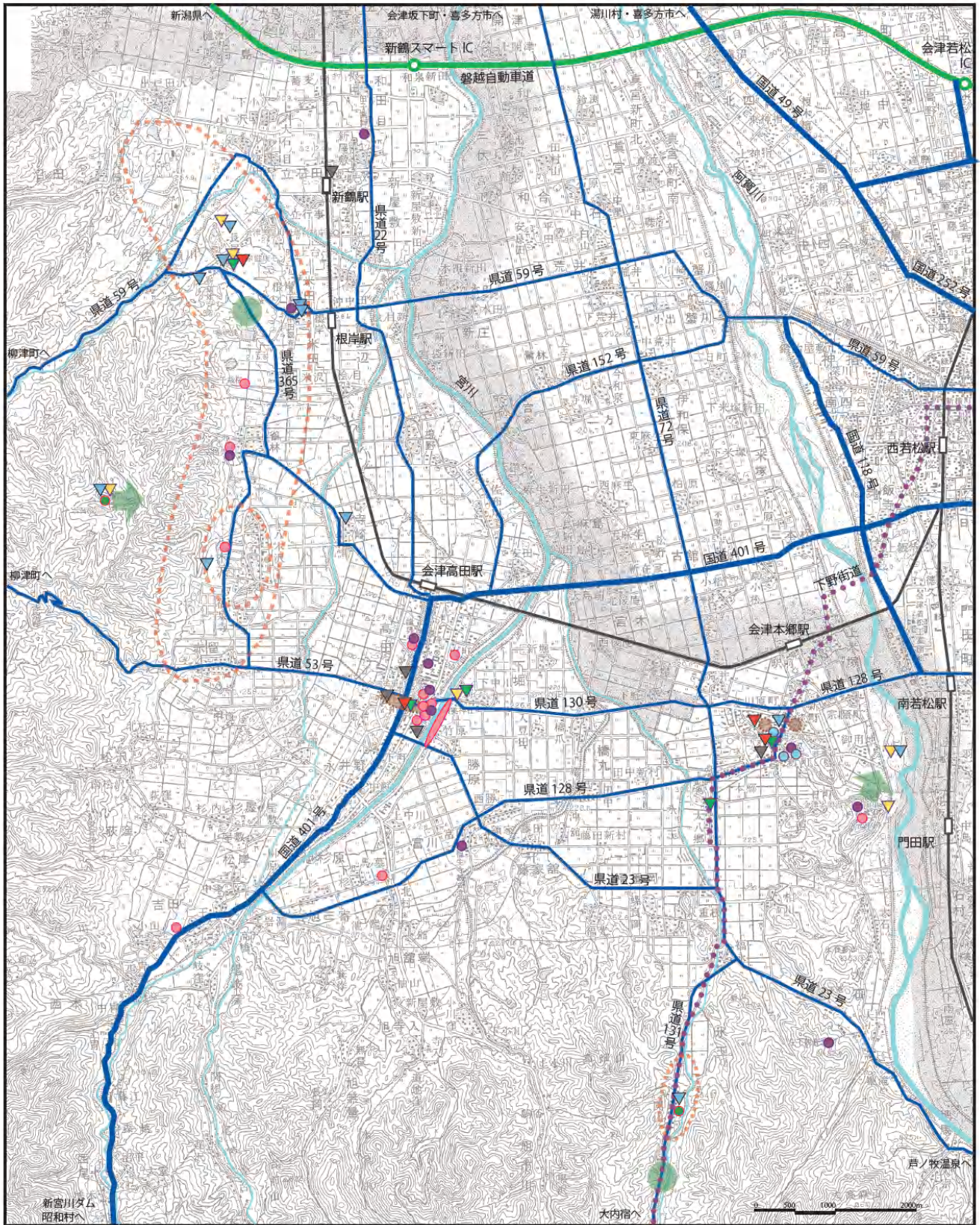
<デマンド交通>

- ・会津美里町ではデマンド交通システム「美里あいあいタクシー」を平成 19 年から導入しており、6 台が運行されている。利用は予約制で、平日の午前 7 時から午後 4 時半まで受け付けており、料金は 1 回 330 円（チケット制）となっている。平成 26 年度の利用者数は 1,938 人、1 日平均 95.3 人で、主な利用者は町内の高齢者（70 歳以上が 79%）となっている。



美里あいあいタクシー

■会津美里町地域資源マップ



- | | | | |
|-----------------------|-----------------|------------------------------|---------|
| ● 花 (桜、あやめ、菜の花、赤そばの花) | ● 歴史文化 (寺社、城跡等) | ▽ レジャー施設 (温泉、多目的公園) | ▽ 観光駐車場 |
| ● 貴重な動植物 (蛭、モリアオガエル等) | ● 旧街道 (下野街道) | ▽ 宿泊施設 (キャンプ場含む) | ● 街並み整備 |
| ● 風景 | ● 産業文化 (会津本郷焼) | ▽ 物販施設 | |
| ➡ 眺望 | ● 地域の取り組み | ▽ 観光案内施設 (イフォメーションセンター、まちの駅) | |

②イベント実施状況と季節別にみた地域資源の状況

<祭り・イベント>

- ・12月を除き、ほぼ年間を通して祭りやイベントが実施されている。町内で最も入込の多いイベントである「あやめ祭り」には20日間で14.7万人が訪れている。
- ・伊佐須美神社の神事のひとつである「伊佐須美神社の田植神事」は、喜多方市の「慶徳稲荷神社の田植神事」とともに「会津の御田植祭」として、「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（選択無形民俗文化財）」に選択された。
- ・一覧以外のものとして、イベントに出店する形態で、軽トラ市を実施している。
平成27年度実績：菜の花まつり（5月）、時空の路ヒルクライム（5月）、エクストリーム・チャンピオンシップ東北地区大会（7月）、会津美里ふれあいウォーク（10月）

<自然資源>

- ・花（桜、菜の花、フジ、あやめ、蓮等）は4～6月を中心に、ホタルは6月に楽しむことができる。
- ・会津盆地らしい田園風景は初夏～秋に、また冬には雪景色を見ることができる。

<観光施設等>

- ・温泉や陶芸体験は通年楽しむことができる。
- ・せせらぎ公園等町内3カ所あるキャンプ場は春から秋までの営業となっている。

<農と食>

- ・春には山菜を、秋の収穫時期には新米を、また、春から秋を中心に年間を通して野菜や果実を楽しむことができる。

	祭り・イベント	開催時期
春	西勝の彼岸獅子	春分の日
	花まつり	4月8日
	花祝祭（太々神楽）	4月29日
	菜の花まつり	5月上旬
	時空の路ヒルクライム	5月第3日曜日
	炎の郷・向羽黒山城跡ふれあい茶会（H26 入込：2,700人）	5月最終日曜日



菜の花まつり



時空の路
ヒルクライム

夏	祭り・イベント	開催時期
	明神ヶ岳山開き あやめ祭り (H26 入込 : 14.7 万人) 高田梅種とばし選手権世界大会 美里蔵フリーマーケット 御田植祭 高橋の虫送り 本郷せと市 (H27 入込 : 5 万人) 美里蔵ビアガーデン	6 月第 1 日曜日 6 月 15 日~7 月 5 日 6 月下旬 6 月下旬 7 月 12 日 7 月 19 日 8 月第 1 日曜日 8 月上旬

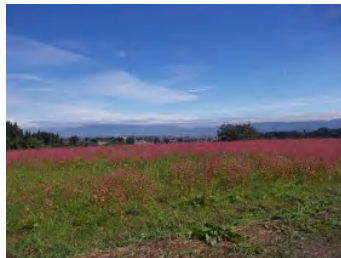


せと市



御田植祭

秋	祭り・イベント	開催時期
	伊佐須美神社例大祭 陶祖祭 秋季祭礼 会津美里町商工祭にぎわい祭り in 横町門前町通り 美里蔵市 新鶴ワイン祭り (H26 入込 : 1,000 人) 新そばまつり (H26 入込 : 200 人) 赤そば祭り	9 月 1 日~17 日 9 月 16 日 9 月第 3 日・月曜日 10 月上旬 10 月上旬 10 月第 2 日曜日 11 月上旬 11 月中旬



赤そば



ワイン祭り

冬	祭り・イベント	開催時期
	へびの御年始 奇祭 大俵引き (H26 入込 : 7,800 人) 俵引きタイムレース 初天神 文殊祭 美里蔵市 ぐるっと会津のひなめぐり	1 月 7 日 1 月第 2 土曜日 1 月第 2 土曜日 1 月 25 日 2 月 25 日 2 月 25 日 2 月~3 月上旬



文殊祭



大俵引き

③資源の客観的評価

- ・町内における国や県の指定文化財は27件あり、この内、高田地域の龍興寺が所有する「一字蓮台法華経開結共（九巻）」は国宝に指定されている。
- ・また、民間による評価では、日本交通公社観光情報データベース評価委員会の独自基準による評価（特A級～E級の6段階評価）によると、町内では伊佐須美神社がランクB（東北地方で貴重な物件）に位置付けられている。（出典：日本交通公社出版事務局『交通公社の新日本ガイド③ 東北Ⅱ南部』昭和63年）

<国や県の指定文化財>

種別	名称	地域	
国宝	美術工芸品（書跡）	一字蓮台法華経開結共（九巻）	高田
国指定重要文化財	建造物	常福院薬師堂	新鶴
		弘安寺旧観音堂厨子	新鶴
		法用寺観音堂厨子及び仏壇	高田
		福生寺観音堂	高田
	美術工芸品（彫刻）	弘安寺銅造十一面観音及び脇侍不動明王・地藏菩薩立像	新鶴
		銅造阿弥陀如来及両脇侍立像	高田
		木造金剛力士立像（2軀）	高田
		木造吉祥天立像	高田
	美術工芸品（工芸品）	朱漆金銅装神輿	高田
	国指定史跡	向羽黒山城跡	本郷
県指定重要文化財	建造物	法用寺三重塔（附板絵図）	高田
		法用寺観音堂（附金銅製十六菊花紋四枚）	高田
		左下り観音堂	本郷
	美術工芸品（絵画）	絹本着色両界曼荼羅（二幅）	高田
	美術工芸品（彫刻）	木造十一面観音立像	高田
		木造十一面観音立像（桂）	高田
		木造十一面観音立像（櫻）	高田
		伝・木造得道上人坐像	高田
		木造聖徳太子立像	本郷
	美術工芸品（工芸品）	銅鐘	高田
		木造狛犬（一对）	高田
十一面観音板木		高田	
県指定重要無形民俗文化財	風俗習慣	伊佐須美神社の田植神事	高田
県指定史跡	大光寺供養塔（板碑）	高田	
県指定天然記念物	蓋沼の浮島	高田	
	米沢の千歳ザクラ	新鶴	
	伊佐須美神社のフジ	高田	

2) 観光関連の町の取り組み

①情報提供・情報発信

A. 会津美里町観光ポータルサイト ミサトノ <http://misatono.jp/>

- ・観光協会（振興公社）による運営で、平成26年のアクセス件数111,489件となっている。
- ・町内観光施設や主な観光スポット、町内イベント等の情報を入手できる他、各種観光マップをダウンロードできる。
- ・スタッフブログではイベント等開催レポートを中心に掲載している。「あいづじげん」のツイッターは停止中となっている。



B. インフォメーションセンター

- ・高田地域と本郷地域の2カ所に設置されており、スタッフが常駐している。観光マップ等各種観光情報を入手できるほか、観光ガイドやレンタサイクル貸出（本郷地域のみ）の受付窓口となっている。
- ・高田インフォメーションセンターは商工会（町委託）、本郷インフォメーションセンターは振興公社（町委託）により運営されている。



本郷インフォメーションセンター



高田インフォメーションセンター

C. 観光マップ

- ・町内では、多種類の観光マップ・パンフレットが発行・配布されている。（町全域のマップ、高田・本郷の地域別マップ、歴史・天海関連の案内マップ、飲食店マップ、大内宿・会津坂下等を含めた広域マップなど）
- ・距離感が分かるものや詳しい道筋が分かる地図が少なく、また、飲食店情報等が更新されていないものもみられる。

■ポータルサイトで提供している主な観光マップ



D. サイン整備

- ・高田地域の横町門前町通り、本郷地域の瀬戸町では、街並み整備にあわせて観光案内サインが整備されている。



本郷地域（瀬戸町）の観光案内サイン

E. 紙媒体による情報発信

- ・これまでに、首都圏で配布される雑誌等へ観光情報を掲載した他、町の魅力を発信する冊子の発行・配布等も実施している。

■雑誌への観光情報掲載（TOBUMARCO）



■町の魅力を発信する冊子



※東武線沿線情報を掲載するフリーペーパー。隔月発行、東武線各駅で無料配布されている。

②連携事業

- ・会津地方の広域連携の他、霊地・城等個別テーマでの連携、各地都市間交流がある。
- ・各大学との連携による、インターンシップ※や芸術祭等の取り組み実績がある。
- ・物産販売では、過去に会津若松市で、平成 27 年現在では東京都内（下北沢）で、期間限定のアンテナショップ※を設置している。

※【インターンシップ】 学生が企業等で就業体験を行うこと。

※【アンテナショップ】 大量消費地等に設置された地元の特産品等を販売する店舗で、消費者の傾向を調査するねらいがある。

項目	連携テーマ／連携自治体
会津地域、県	極上の会津プロジェクト協議会
	コードF、キビタンスタンプリアリー
花	会津五桜、全国あやめサミット
寺	霊地観光連絡協議会（会津六詣で）
城	城下町連絡協議会
都市間交流	（会津地方）会津若松市、南会津町、下郷町大内宿、昭和村等
	（友好姉妹都市等）台東区、檜葉町、那須町、宮城県美里町
	（歴史的つながり）台東区、那須町、日光市、白河市（焼物）笠間市、益子町
大学	東北芸術工科大学、福島大学、会津大学短期大学部等
海外	上海（会津本郷焼事業協同組合）
アンテナショップ	会津若松市（H24 年度）、下北沢（H26 年度、H27 年度）

③観光ガイド

- ・寺院や天海大僧正等をテーマとした観光ガイドを実施している。年間 56 件、延べ 1057 人（平成 26 年度）が利用しており、年々増加傾向にある（平成 24 年度：35 件、平成 25 年度：54 件）。
- ・事前予約制（1 週間前まで）で、利用料は無料（ガイドへの報酬はあり）となっている。予約は観光協会にて受け付けている。
- ・ガイドは観光協会の講習を受け、平成 27 年現在 16 名が登録されている（実際は 9 名前後で対応）が、高齢化している。

⑤街並み整備

- ・高田地域の横町・門前町通りと本郷地域の瀬戸町地区では、観光客の回遊を促すことを目的に街並み整備を実施している。

■高田地域：まちづくり交付金



横町・門前町通り



案内板



観光トイレ

■本郷地域（瀬戸町・瀬戸町西地区）：街並み環境整備事業



水路改修



緑地整備（石のこ公園）



広場（瀬戸町ふれあい広場）



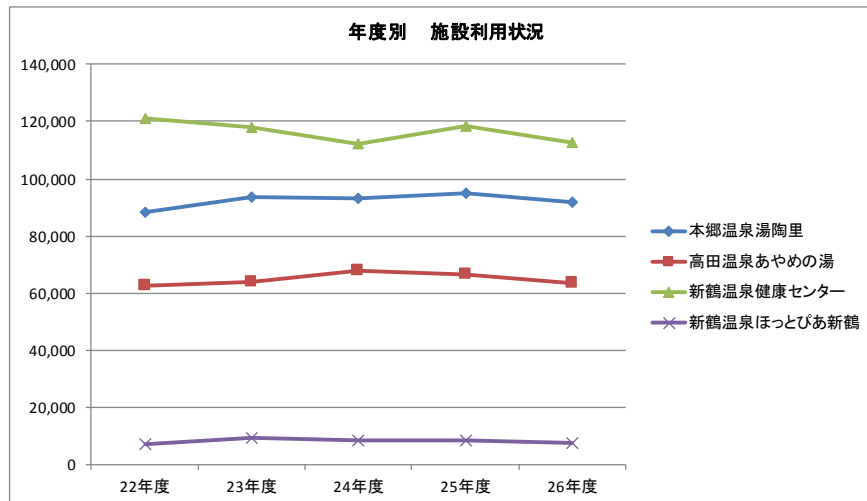
広場内の公衆トイレ

3) 観光施設等の入込状況

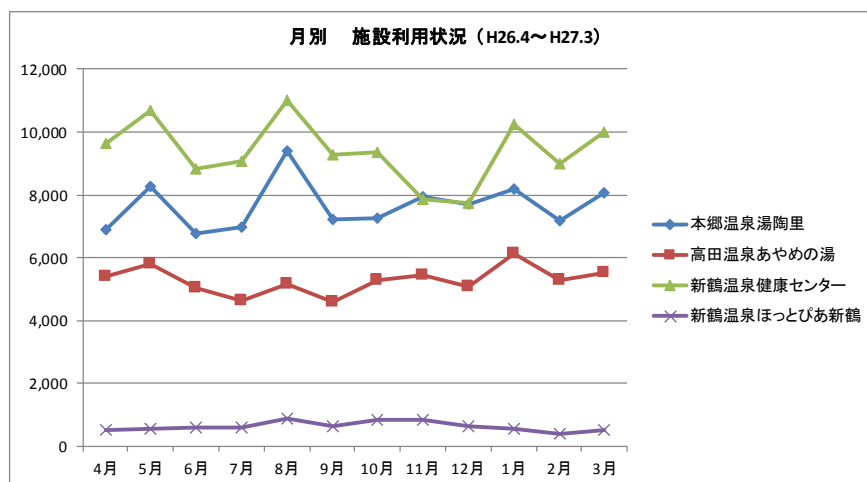
①温泉施設・宿泊施設（※考察は事業者ヒアリング結果含む）

- ・新鶴温泉健康センターは11.3万人(平成26年度)の利用で、温泉施設の内最も多い(ただし、週7日営業の影響もある。他2施設は週6日営業)。近年は概ね横ばいで推移しているが、かつては13-14万人で推移しており、徐々に固定客が減少している。月別では、5、8、1月の入込が特に多いが、年間を通して利用されており、曜日別では、土日及び平日夕方が多い。また、広域から来場している(町内:町外=4:6、町外の内3%が会津外)。
- ・本郷温泉湯陶里は会津若松市及び地元の利用が、高田温泉あやめの湯は近在の高齢者の利用が多い。
- ・新鶴温泉ほっとぴあ新鶴は広域から来場しており、県外:県内=4:6で、県外は関東からが多い。

■温泉施設利用状況 (H22.4~H27.3)



施設名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
本郷温泉湯陶里	88,473	93,626	93,157	95,061	91,829
高田温泉あやめの湯	62,546	63,866	67,718	66,700	63,360
新鶴温泉健康センター	120,882	118,053	112,011	118,603	112,743
新鶴温泉ほっとぴあ新鶴	7,045	9,475	8,257	8,428	7,650

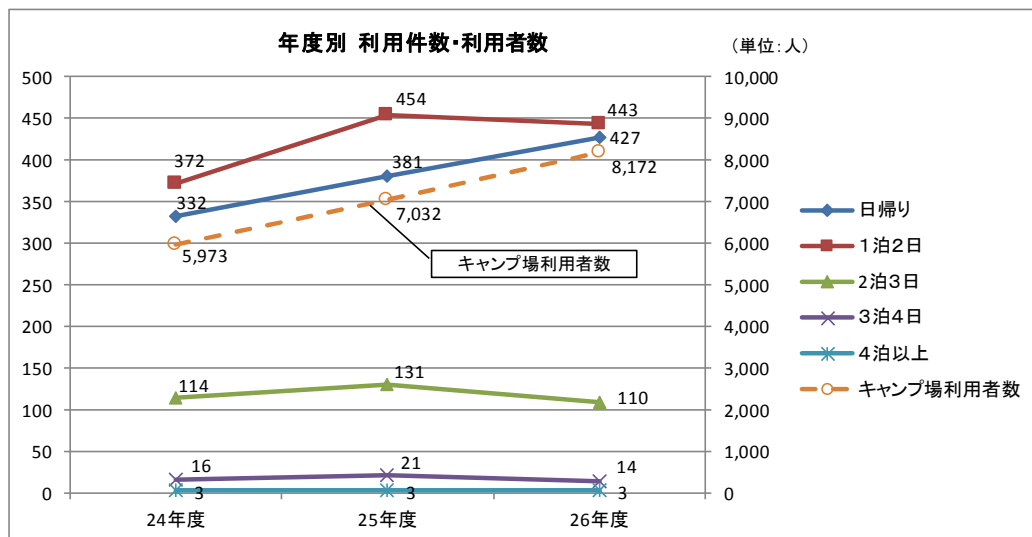


H26年度	施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	本郷温泉湯陶里	6,891	8,267	6,771	6,975	9,389	7,230	7,252	7,959	7,682	8,186	7,173	8,054
	高田温泉あやめの湯	5,395	5,802	5,025	4,637	5,156	4,610	5,279	5,430	5,071	6,128	5,292	5,535
	新鶴温泉健康センター	9,650	10,692	8,844	9,068	11,001	9,272	9,363	7,855	7,745	10,261	8,995	9,997
	新鶴温泉ほっとぴあ新鶴	510	548	595	622	904	631	846	848	656	566	417	507

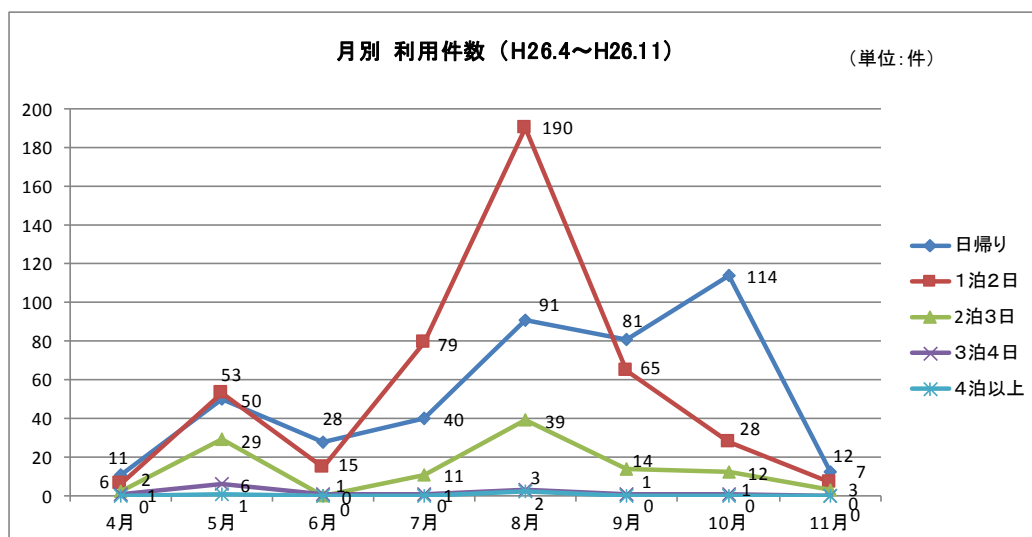
②キャンプ場、スポーツ施設

- ・せせらぎ公園オートキャンプ場の利用件数は1泊2日と日帰りが多く（各443件、427件、平成26年度）、全体の利用者数も年々増加しており、平成26年度は8,172人の利用がみられた。
- ・月別では、8月が最も多く、日帰りの場合は10月も比較的利用が多い。

■せせらぎ公園オートキャンプ場 キャンプサイト利用件数（H24.4～H26.11 ※毎年12月～3月 閉園）



キャンプサイト利用件数	24年度	25年度	26年度
日帰り	332	381	427
1泊2日	372	454	443
2泊3日	114	131	110
3泊4日	16	21	14
4泊以上	3	3	3
計	837	990	997
キャンプ場利用者数	5,973	7,032	8,172

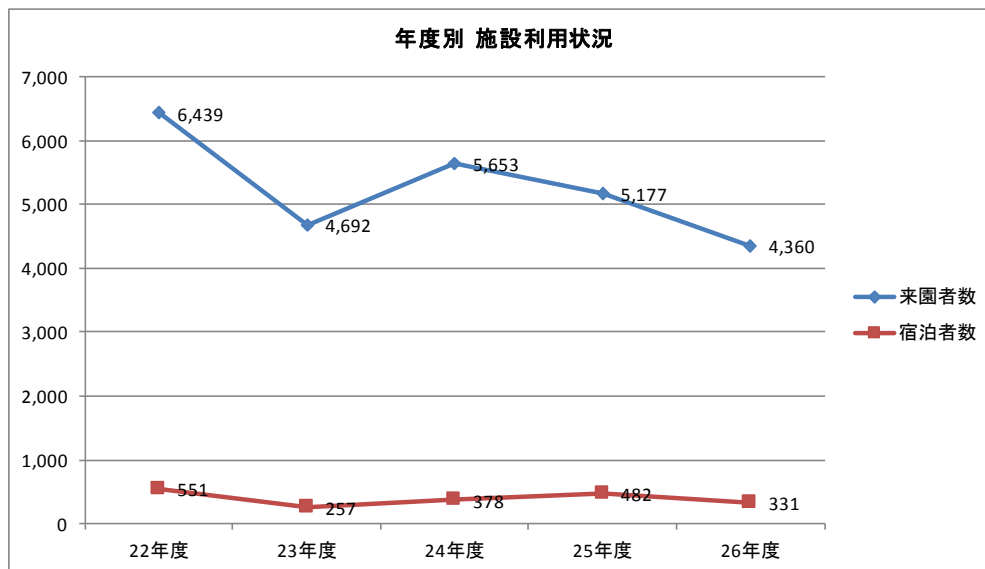


H26年度

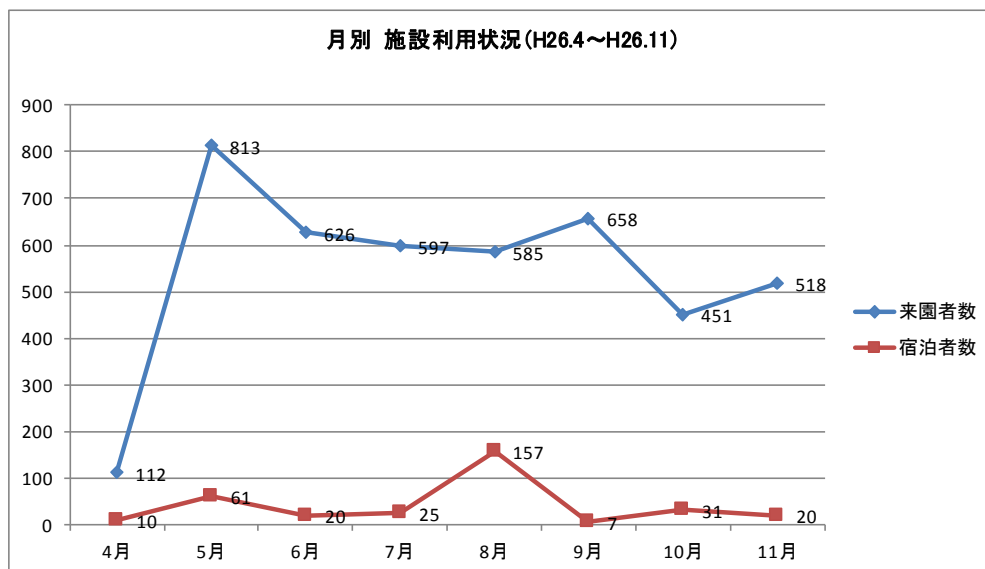
キャンプサイト利用件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
日帰り	11	50	28	40	91	81	114	12
1泊2日	6	53	15	79	190	65	28	7
2泊3日	2	29	0	11	39	14	12	3
3泊4日	1	6	1	1	3	1	1	0
4泊以上	0	1	0	0	2	0	0	0
計	20	139	44	131	325	161	155	22

- ・平成 26 年度の蓋沼森林公園の来園者数は 4,360 人、宿泊者数は 331 人で、震災前の約 7 割まで落ち込んでいる。月別にみると、5 月をピークに、9 月も比較的来園者数が多く、宿泊は 8 月に集中している。

■蓋沼森林公園 利用状況(H22.4~H26.11 ※毎年12月~翌4月中旬まで閉園)



	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
来園者数	6,439	4,692	5,653	5,177	4,360
宿泊者数	551	257	378	482	331



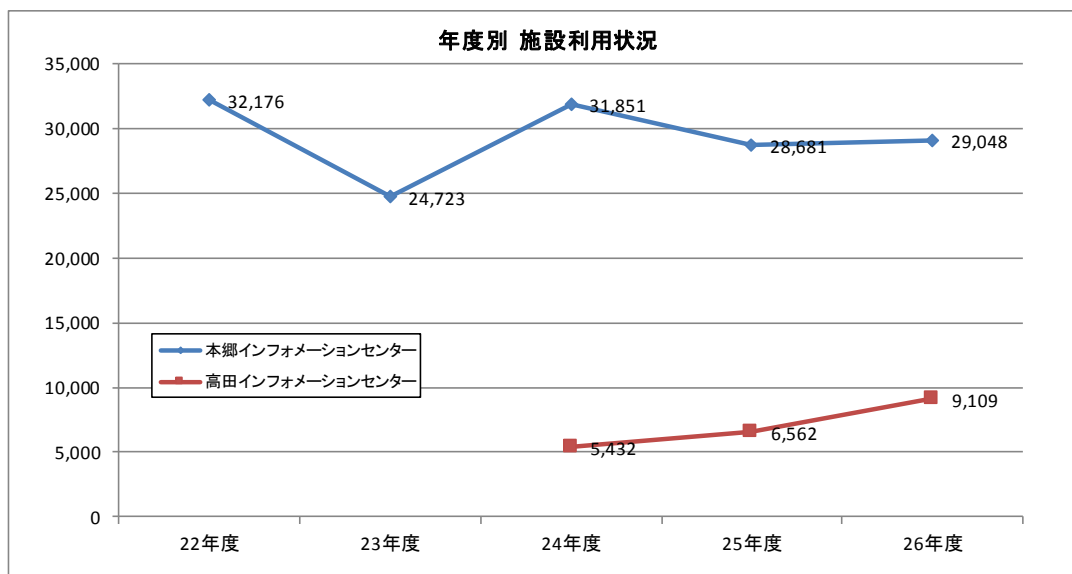
H26年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
来園者数	112	813	626	597	585	658	451	518
宿泊者数	10	61	20	25	157	7	31	20

- ・ふれあいの森公園実績：H23 26,354 人、H24 29,675 人（イベント再開による増）、H25 11,309 人（除染作業により減）、H26 15,081 人。町外からの利用はテニスコート利用など一部を除き震災前の水準に回復しているが、会津若松市内に競技場が新設された影響により、例年開催の大会等が行われなくなり減少している。

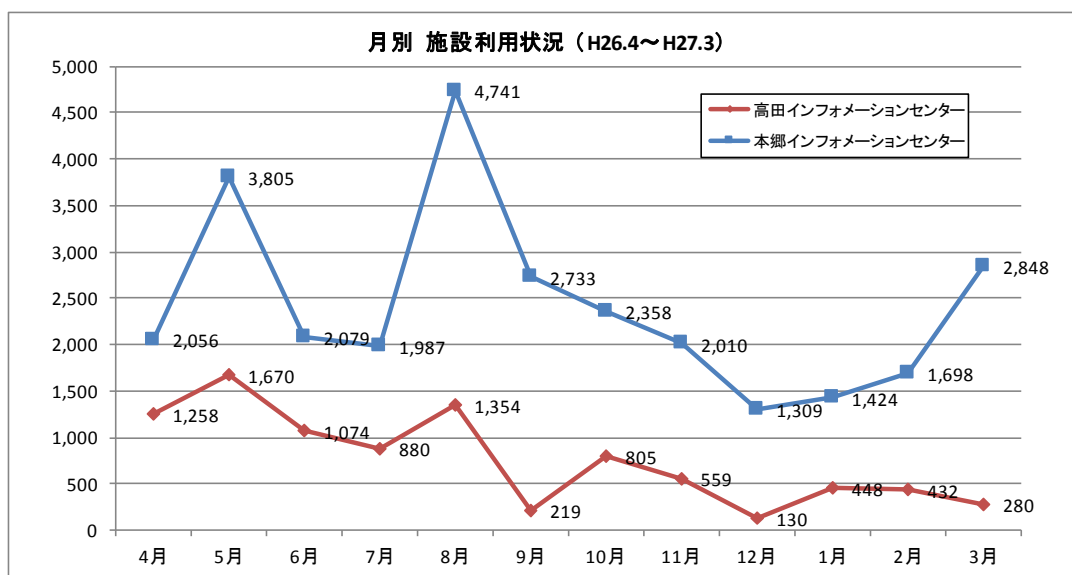
③インフォメーションセンター

- ・平成 26 年度の本郷インフォメーションセンターの利用者数は 29,048 人で、震災前後と比較すると少ない状況だが、平成 25 年度からは若干増加している。一方、高田インフォメーションセンターは年々増加傾向にあり、平成 26 年度は 9,109 人の入込みがあった。
- ・月別では、5 月、8 月の利用が多いが、本郷インフォメーションセンターについては、2 月の利用も多い。

■インフォメーションセンター利用状況 (H22.4・H24.4～H27.3)



施設名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
本郷インフォメーションセンター	32,176	24,723	31,851	28,681	29,048
高田インフォメーションセンター	-	-	5,432	6,562	9,109



H26年度	施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	本郷インフォメーションセンター	2,056	3,805	2,079	1,987	4,741	2,733	2,358	2,010	1,309	1,424	1,698	2,848
	高田インフォメーションセンター	1,258	1,670	1,074	880	1,354	219	805	559	130	448	432	280

④町内ツアー入込（民間事業者誘致分）

・民間事業者による会津美里町へのツアー等誘客状況（「ふくしまっ子」等補助事業を除く）を下表に整理する。内容を見ると、歴史関係、桜、焼物などをテーマにしたものや、広域周遊型のツアーが多く見られる。

年度	ツアー名称	参加人数	合計
H24	輪王寺 日光東照宮 日帰りツアー 第一回	25	334
	輪王寺 日光東照宮 日帰りツアー 第二回	20	
	福島民友新聞社 カルチャー教室 社会科見学会	42	
	福島民報社 おとなの野外教室	43	
	B S N新潟放送喜谷アナウンサーと行く磐梯町新そば祭り日帰りツアー	88	
	福島民友新聞社カルチャー教室社会科見学会 ～紅葉の会津路ツアー 長床・喜多方・会津美里～	40	
	福島民報社女性のためのあいつ社会科教室 ～会津若松市内及び近郊の施設・事業所を訪問～	45	
	福島民報社会津の伝統工芸を楽しむ 会津冬の野外教室	31	
H25	福島民友新聞社 カルチャー教室 社会科見学会	40	501
	福島民報社 おとなの野外教室 桜八選	41	
	B S N新潟放送 喜谷アナウンサーと行く会津日帰りツアー	120	
	みっせ会津号	72	
	灯明祭り	41	
	エフエム仙台 庄子久子といく「酒蔵を巡る初秋のぼんたい散歩」	44	
	まほろば街道「橋本広喜」と行くスケッチの旅	20	
	クラブツーリズム（首都圏パンフ）	123	
H26	福島民友新聞社 カルチャー教室 社会科見学会	40	1036
	福島民報社 『さくら八選めぐりツアー』	76	
	仏都会津とあやめ祭り日帰りバスツアー	112	
	せと市朝めし前シャトルバス	11	
	会津美里町菊祭り日帰りバスツアー	17	
	ともし火と仏教声楽の夕べ	34	
	天海さんまつりバスツアー（武将隊と天海さんお茶会）	9	
	興福寺貫首と行く福島応援の旅	16	
	B S N新潟放送発仏の都会津美里町「天海大僧正」ゆかりの地を訪ねる日帰りの旅	40	
	B S N新潟放送発「天海大僧正誕生の地、会津美里町・高田大俵引き」参加日帰りバスツアー	26	
	クラブツーリズム（首都圏パンフ）	655	

4) 観光客の動向

①せと市観光客アンケート調査

<実施概要>

- 平成 26 年度に実施した観光動向調査では、町内観光関連施設、町内・町外イベント、観光ツアー等において、観光客を対象としたアンケート調査（聞き取り調査）を実施し（1035 サンプルを収集）、対象者の属性、来訪目的・動機、一般的な国内旅行ニーズ、会津美里町の知名度等について把握している。この結果を踏まえ、平成 27 年度は「町内における観光客の行動」を把握することを主な目的として、アンケート調査（聞き取り調査）を実施した。

●実施日時：

平成 27 年 8 月 2 日（日）

5 時～12 時

●場所：せと市会場

●実施方法：

せと市来場者に対して、調査票の質問項目にもとづき、調査員 4 名（学生 2 名含む）で聞き取り調査を実施。

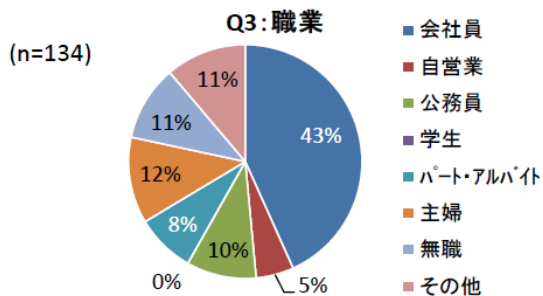
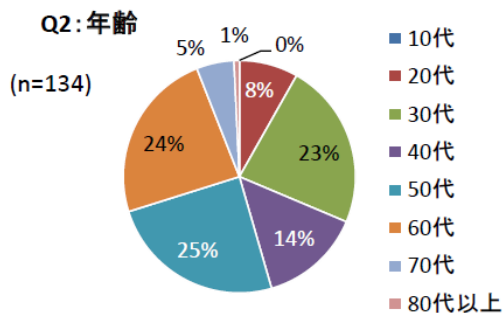
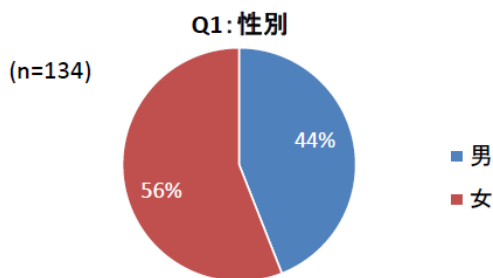
●サンプル数：134 サンプル

*プレ調査：7/12 の御田植祭でプレ調査を実施。

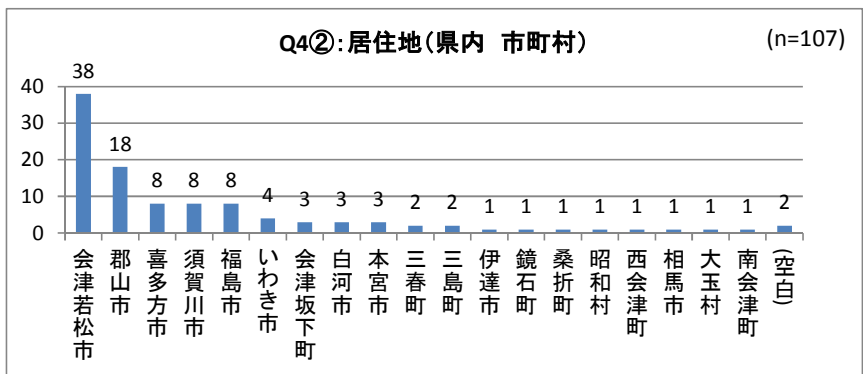
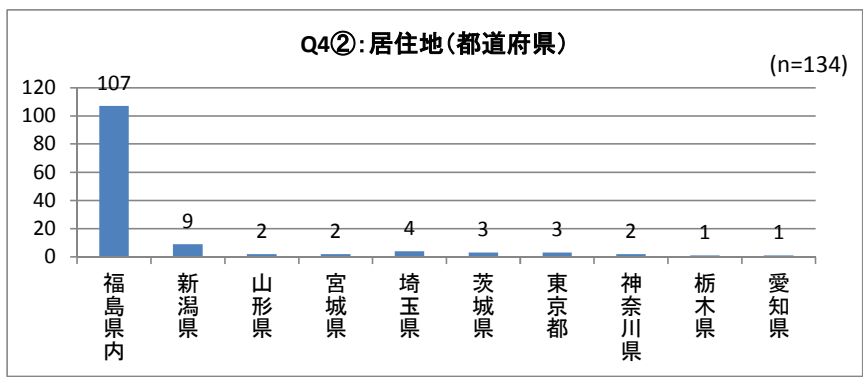
N. O. _____	
会津美里町観光振興計画策定に関わる 観光客アンケート調査【せと市】	
0. 基本属性	
Q1. 性別【1つだけ○】	1. 男 2. 女
Q2. 年齢【1つだけ○】	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代以上
Q3. 職業【1つだけ○】	1. 会社員 2. 自営業 3. 公務員 4. 学生 5. パート・アルバイト 6. 主婦 7. 無職・定年退職 8. その他
Q4. 居住地【記入】	_____ 都道府県 _____ 市町村
1. 交通手段と同行者	
Q5. ここまでの交通手段を教えてください。 ※シャトルバスをのぞく 【主なもの1つだけ○】	1. 自家用車 2. 路線バス 3. 観光バス 4. タクシー 5. 鉄道 6. 自転車 7. その他（_____）
Q6. 何人で来ましたか。【1つだけ○】	（_____）人 ↳ ①家族・親戚 ②友人 ③ツアー ④その他（_____）
2. 町内での行動	
Q7. 宿泊しましたか/宿泊する予定ですか。 【1つだけ○、市町村名記入】	1. 宿泊した/する ↳ ①町内 ②町外（市町村名：_____）
Q8. せと市の後、どこに行く予定ですか（観光、飲食、買物等）/せと市の前にどこに行きましたか。 【複数に○可、具体的な場所を記入】	1. どこかに行く/行った 2. すぐ帰る ↳ ①町内 ②町外 【具体的に】：_____
Q9. 観光客の立場からみて、会津美里町にほしい施設やサービス、充実・改善してほしいことはありますか。 【複数に○可、具体的に記入】	1. 町ホームページの観光情報 2. 町まで/町内の移動手段 3. バンフ等による観光情報 4. 案内サイン 5. トイレ 6. 飲食する場所 7. 土産物等買物する場所 8. 宿泊施設 9. その他 10. 特にない 【具体的に】：_____
3. 来訪経験と情報源	
Q10. 会津美里町に来たのは何回目ですか。 【1つだけ○】	1. はじめて 2. 2回目 3. 3回目以上
Q11. せと市に来たのは何回目ですか。 【1つだけ○】	1. はじめて 2. 2回目 3. 3回目以上
Q12. <Q11で「はじめて」と答えた方> 何で「せと市」を知りましたか。 【1つだけ○】	1. テレビ・ラジオ番組 2. 新聞 3. 旅行雑誌・ガイドブック 4. 民間の旅行情報サイト 5. 県、会津地方、町等の観光情報サイト 6. SNS 7. 友人・家族の紹介 8. その他（_____）

<結果概要>

0. 基本属性

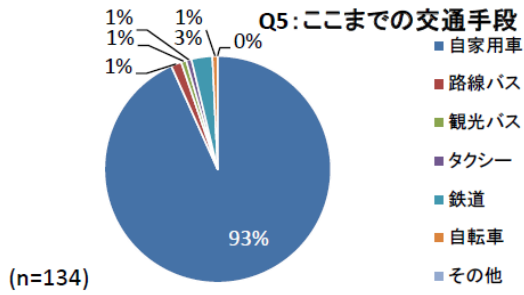


・アンケート対象者は女性の割合が56%と若干多く、年代別では、30代、50代、60代が、それぞれ25%前後を占めている。

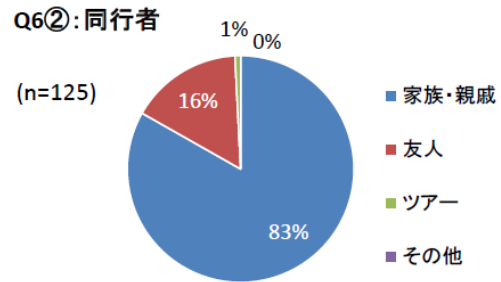
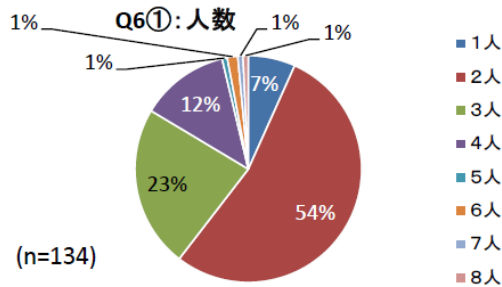


・居住地別にみると、県内 107 人 (79.9%)、県外 27 人 (20.1%)。
 ・県内のうち、38 人 (35.5%) は会津若松市からで、郡山市 (18 人、16.8%)、喜多方市、須賀川市、福島市 (各 8 人、7.5%) と続く。
 ・県外で最も多いのは新潟県 (9 人) で、エリア別では、東北地方と関東地方がいずれも 13 人ずつとなっている。

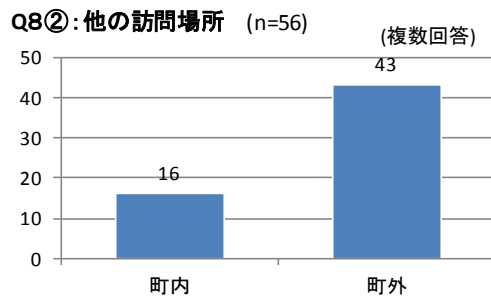
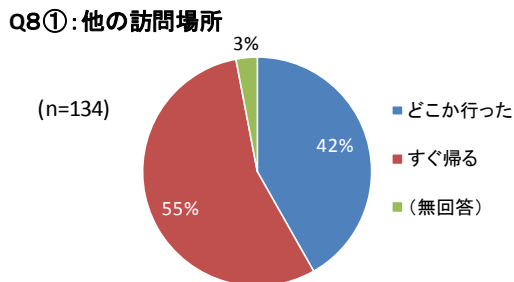
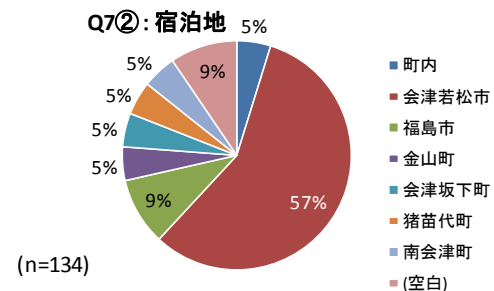
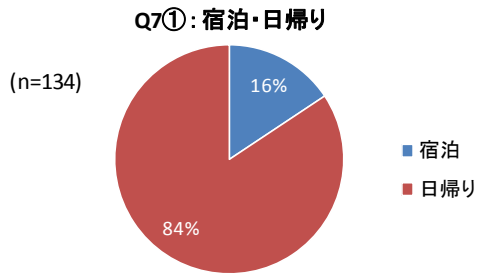
1. 交通手段と同行者



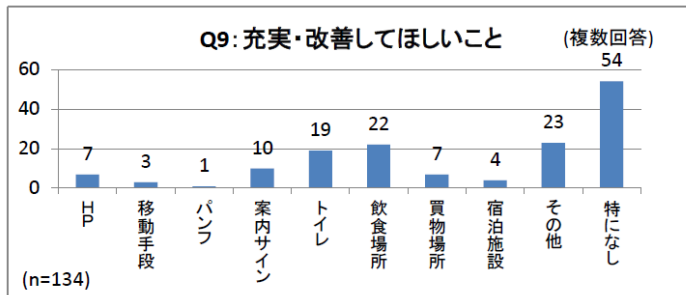
- 交通手段は自家用車が 93%で大多数を占めている。
- 2人連れで来場した人が 54%と半数以上を占め、次いで3人が 23%となっている。
- 同行者は家族・親戚が 83%と多くを占めている。



2. 町内での行動

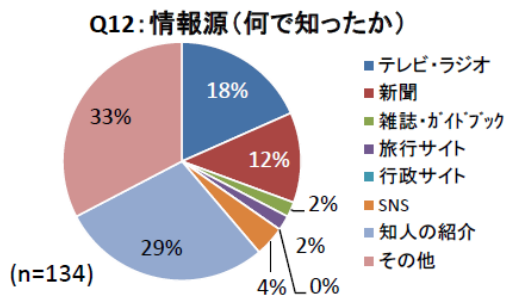
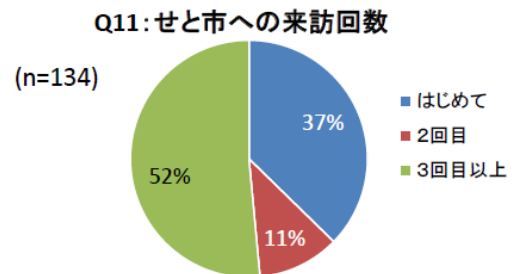
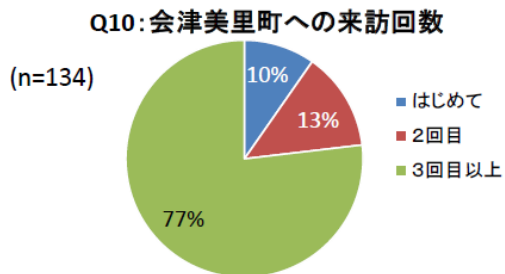


- 宿泊した割合は 16%で、日帰りが 84%と多くを占めている。
- 宿泊地をみると、57% (12人) は会津若松市内で、町内はわずか (5%、1人)
- せと市の前後の行動についてみると、55%が「すぐ帰る」と回答している。
- 「どこかに行った」(26人) の訪問場所をみると、43人 (76.8%) は町外となっており、町内は 16人 (28.6%) と少ない。



• 充実・改善してほしいことでは、飲食場所（22人 16.5%）、トイレ（19人、14.8%）、案内サイン（10人、7.5%）などが見られたが、54人（40.3%）は「特になし」との回答だった。
* トイレについては、イベント時のためと考えられる。

3. 来訪経験と情報源



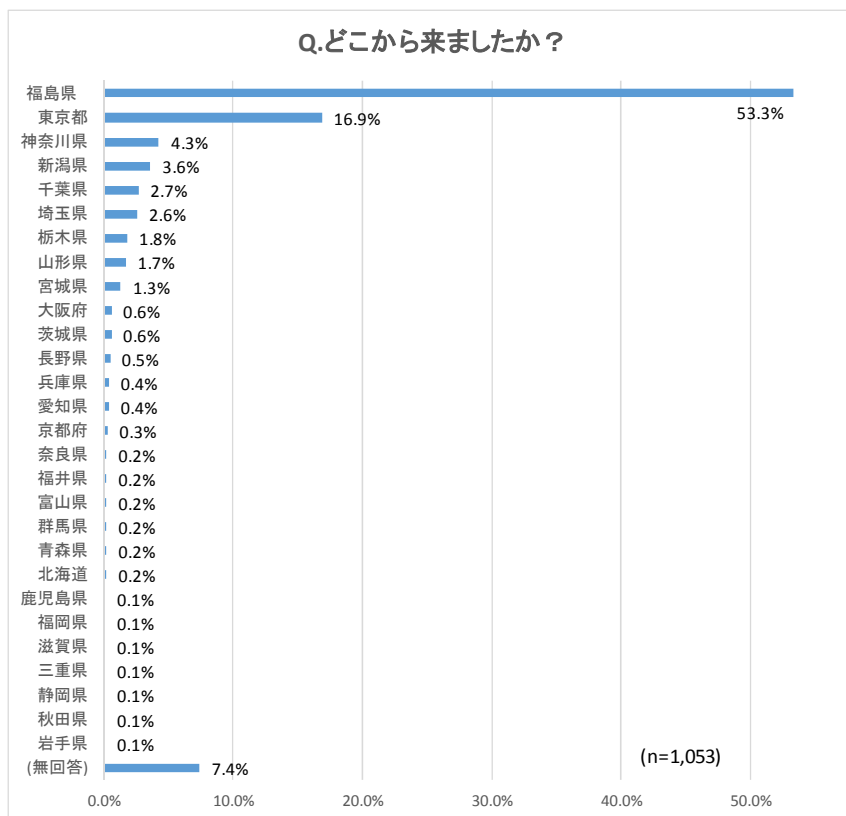
- 会津美里町への来訪回数は2回目以上の方がほとんどで、3回目以上の方が77%を占める。
- せと市も2回目以上のリピーターが63%と多くを占めており、3回目以上が52%で半数以上となっている。
- はじめてせと市へ来場した人の情報源(何でせと市を知ったか)を見ると、33%は「その他」(何となく昔から知っていた等の回答)で、次いで「知人の紹介」(29%)、「テレビ・ラジオ」(18%)、「新聞」(12%)となっている。

②平成 26 年度調査からの整理

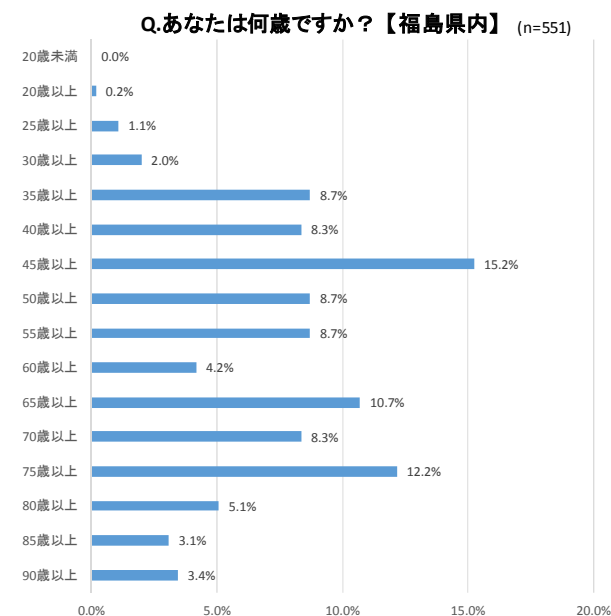
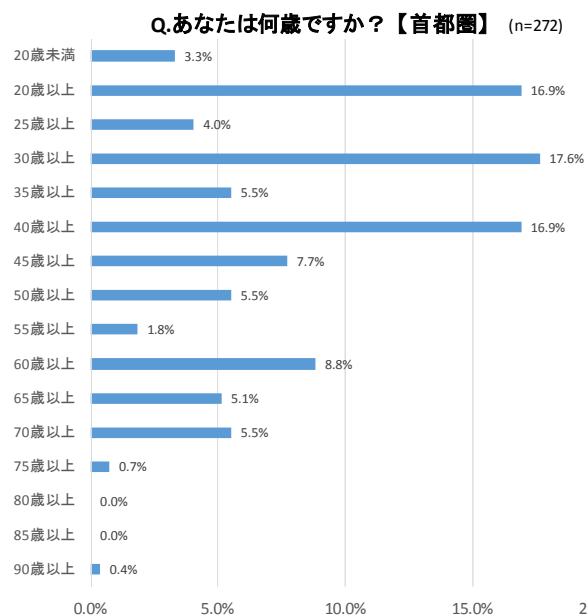
- ・平成 26 年度に実施した観光動向調査検討アンケート結果から、会津美里町に関する動向と、一般的な国内旅行ニーズについて、抜粋する。

A. 会津美里町に関連する事項

A-1 居住地



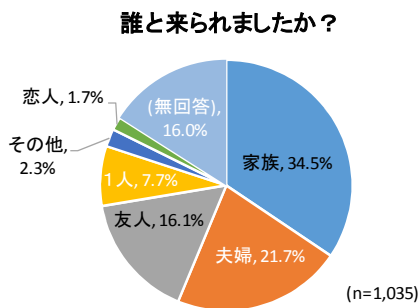
A-2 年齢【首都圏／福島県内】



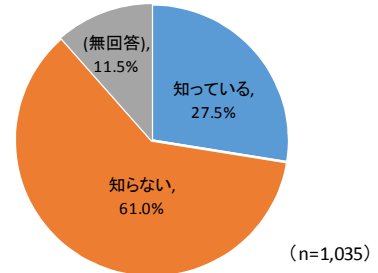
- 居住地別にみると、県内 53.3%、県外 39.3%で、首都圏からは 29.1%である。
- 年齢は、首都圏では 20 歳代~40 歳代が多いのに対し、福島県内は年齢層が高く、45 歳以上、次いで 75 歳以上、65 歳以上が多くなっている。

A-3 同行者

A-4 天海大僧正の知名度

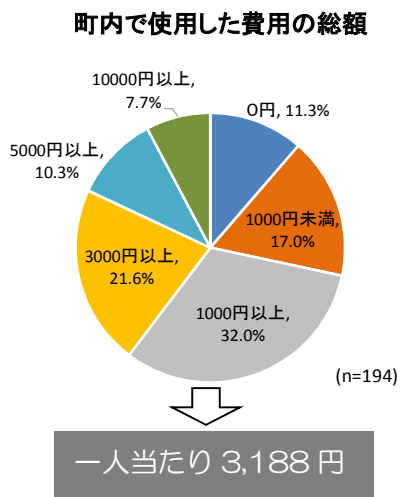


天海大僧正を知っていますか？



- 同行者については、家族 34.5%、夫婦が 21.7%である。
- 天海大僧正については、知っている 27.5%、知らないが 61.0%となっており、まだ十分に知られていない状況である。

A-5 観光消費額

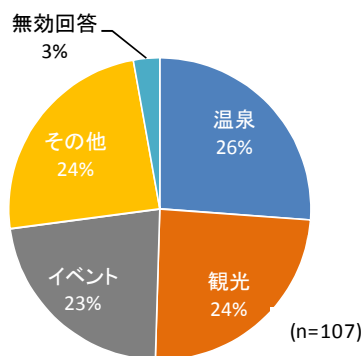


- ※本設問は、全アンケート調査の内、観光周遊バス及び誘客事業への参加者のみを対象に実施した。
- ※なお、無記入を除いた 194 件についてグラフ化している。
- ※一人当たりの値については、各項目の中央値を各人数に乗じて算出した。

- 1000 円以上 3,000 円未満が 32.0%と最も多く、0 円~5,000 円未満で 8 割以上を占める。
- なお、本結果から平均（一人当たりの観光消費額）を求めると、3,188 円となる。

A-6 来訪目的

本日当町を訪れた目的は？

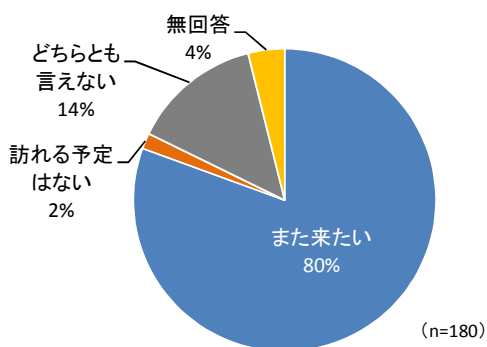


※本設問は、全アンケート調査の内、主な観光施設来訪者のみを対象に実施した。

- 訪れた目的は、温泉、観光、イベントともにほぼ同等の割合となっている。

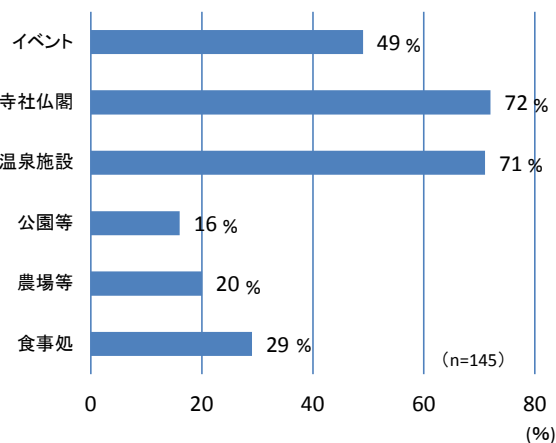
A-7 再来訪の意向

会津美里町にまた来たいと思いますか？



※本設問は、全アンケート調査の内、誘客事業への参加者のみを対象に実施した。

また来たい目的(複数回答可)

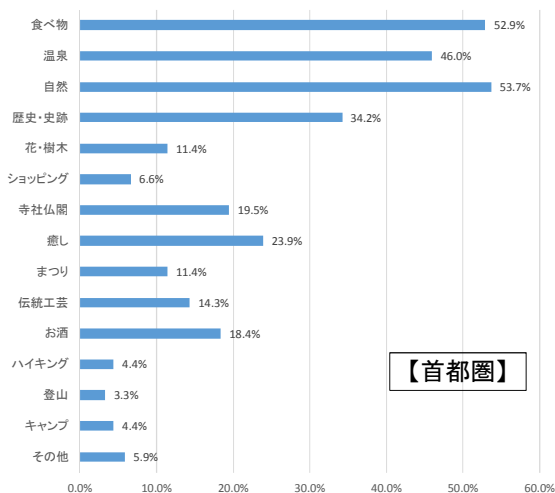


- 「また来たい」が全体の80%と多くなっている。また、その目的では、寺社仏閣や温泉施設が70%以上となっている。

B. 旅行全般に関連する事項

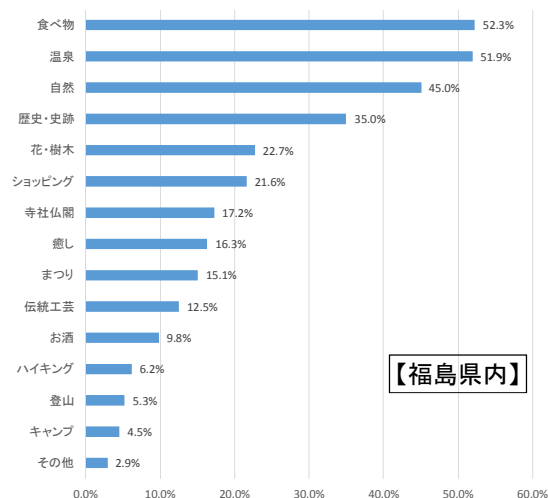
B-1 旅行を決める際の重要なポイント【首都圏／福島県内】

Q. 旅行を決める際の重要なポイントは何ですか？
(複数回答可) (n=272)



【首都圏】

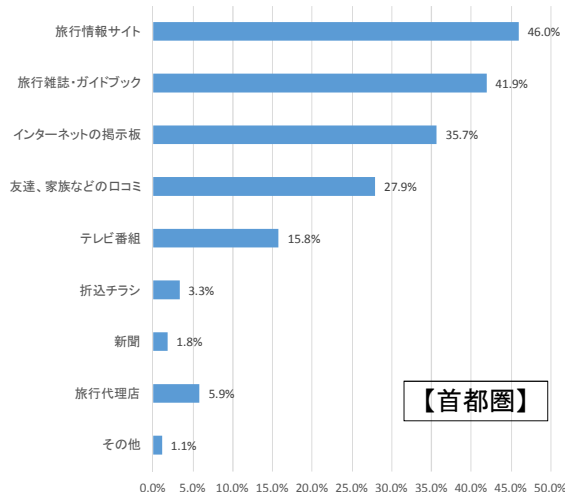
Q. 旅行を決める際の重要なポイントは何ですか？
(複数回答可) (n=551)



【福島県内】

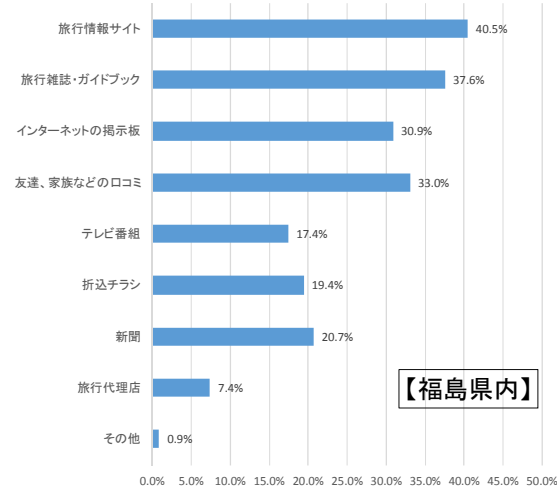
B-2 旅行の情報源【首都圏／福島県内】

Q. 旅行の際の情報源は何ですか？
(複数回答可) (n=272)



【首都圏】

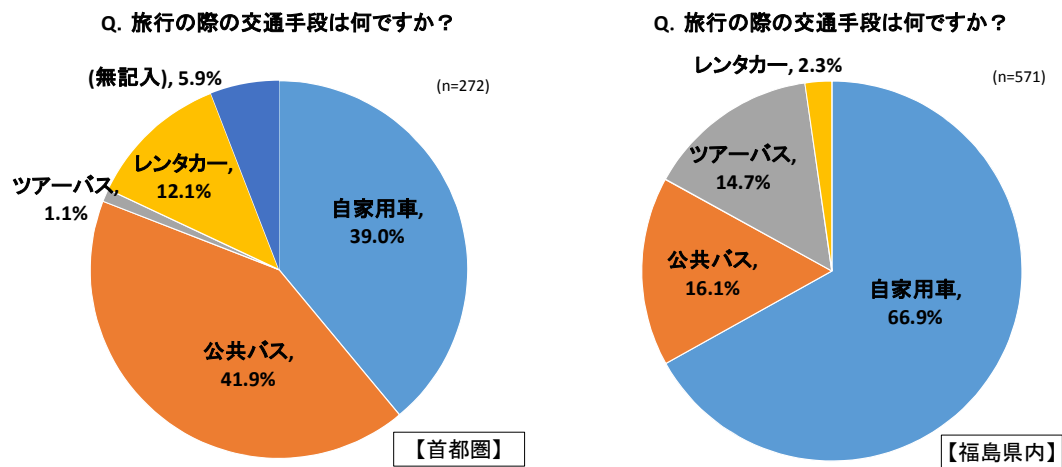
Q. 旅行の際の情報源は何ですか？
(複数回答可) (n=551)



【福島県内】

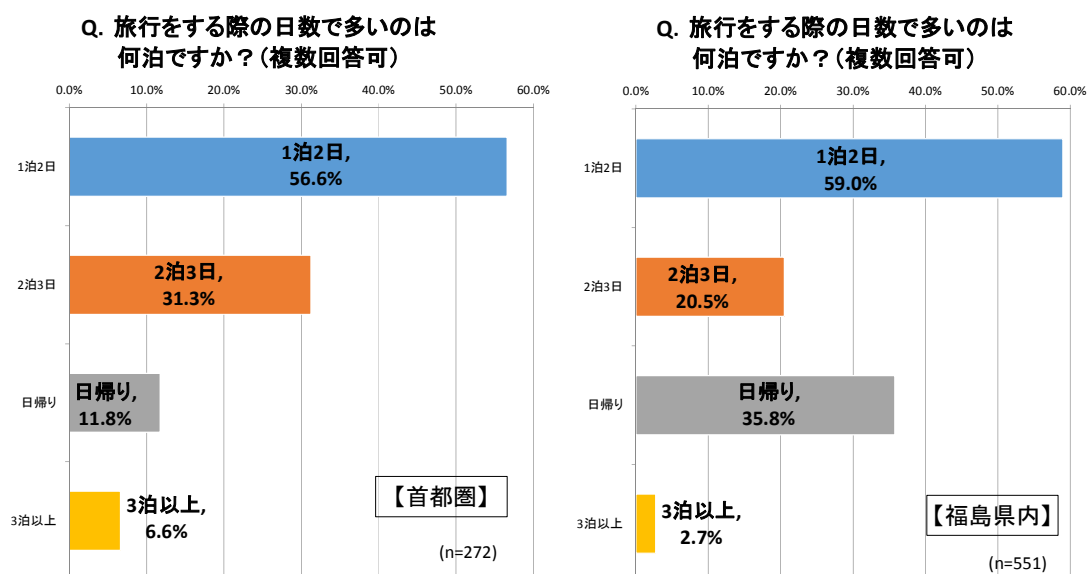
- 旅行を決める際のポイントは、首都圏・福島県内ともに、食べ物、温泉、自然、が50%前後を占めており、次いで歴史・史跡が30%以上を占めている。
- 首都圏は県内と比べると、花・樹木11.4%、ショッピング6.6%が低く、癒し23.9%、お酒18.4%が高いのが特徴的である。
- 旅行の情報源としては、首都圏・福島県内ともに40%以上が旅行情報サイトを挙げている。首都圏と県内を比較すると、首都圏では新聞1.8%や折込チラシ3.3%の割合が特に低い。

B-3 旅行を決める際の交通手段【首都圏／福島県内】



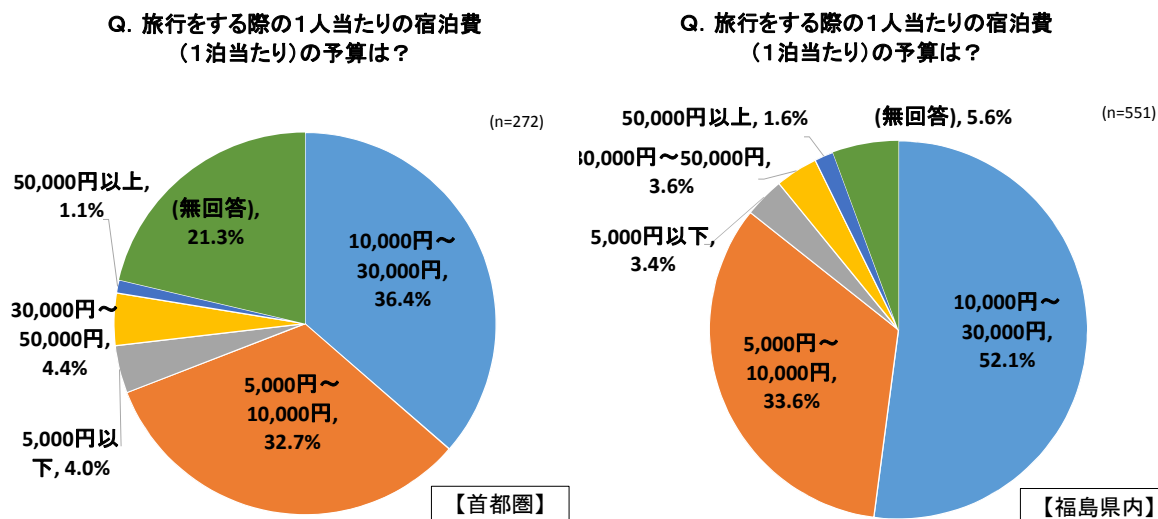
• 交通手段は、首都圏は公共バス 41.9%、自家用車 39.0%が高く、県内は、自家用車が 66.9%と 2/3 を占めている。

B-4 旅行日数【首都圏／福島県内】



- 宿泊日数は、首都圏・福島県内ともに1泊2日が50%以上である。
- 福島県内は日帰りが35.8%と、首都圏に比べて多くなっている。

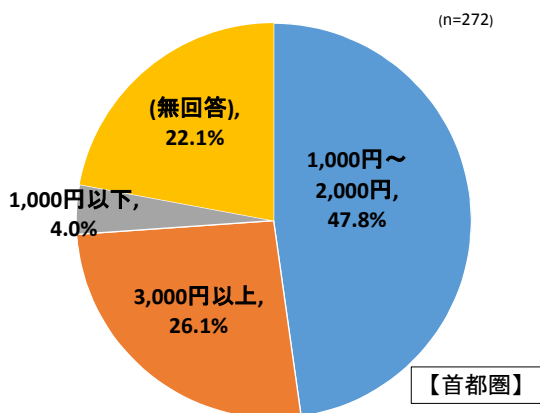
B-5 宿泊費【首都圏／福島県内】



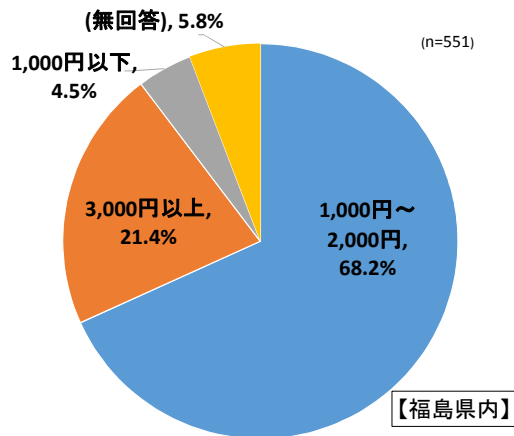
- 宿泊費は、首都圏・福島県内ともに10,000円～30,000円の割合が最も多く、次いで5,000～10,000円となっている。特に、福島県内では10,000円～30,000円の割合が52.1%と半数以上を占めている。

B-6 食事代【首都圏／福島県内】

Q. 旅行をする際の1人当たりの食事代
(1食あたり)は？

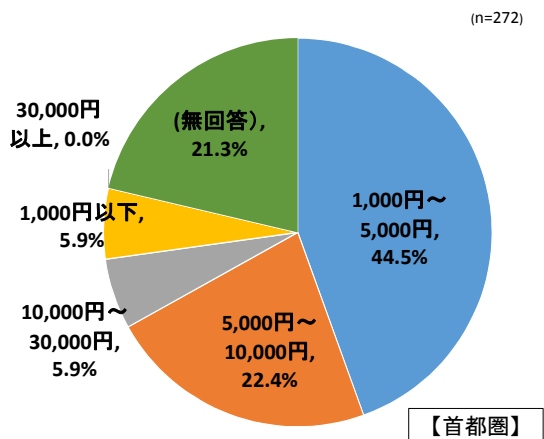


Q. 旅行をする際の1人当たりの食事代
(1食あたり)は？

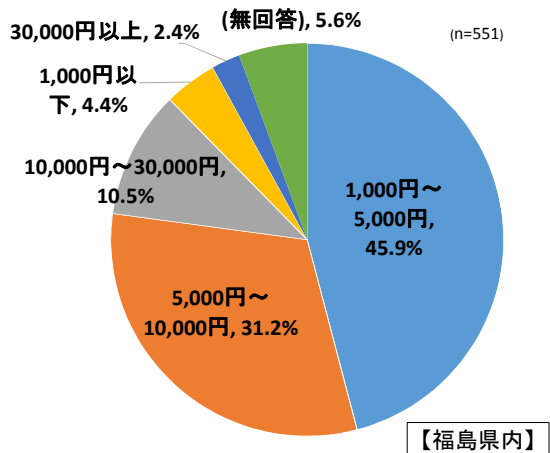


B-7 お土産代【首都圏／福島県内】

Q. 旅行をする際のお土産代は？



Q. 旅行をする際のお土産代は？



・食事代は、県内では1,000円～2,000円が68.2%、3,000円以上が21.4%である。首都圏では無回答が22.1%と多く、1,000円～2,000円は47.8%となっている。

・お土産代は、首都圏では無回答が21.3%と多い。最も多いのは1,000円～5,000円で44.5%である。福島県内でも1,000円～5,000円が45.9%と最も多い。

2. 関係者等及び町民の意向の整理

事業者等ヒアリングの結果、及び平成 26 年度に実施された第 3 次総合計画策定町民ワークショップの結果から、関係者等及び町民の町の観光交流に関する意向を整理した。

なお、事業者等ヒアリングについては、下記の町内外の事業者・地域活動団体等を対象にヒアリング調査を実施した。

<事業者等ヒアリング実施概要>

●実施日：平成 27 年 7 月 9 日、10 日、12 日、13 日、10 月 16 日

●ヒアリング対象

観光関連事業者：(株)会津美里振興公社、会津美里町観光協会、会津美里町観光ガイド委員会、会津野ユースホステル、株式会社アールエイチ企画

関連事業者：会津美里町商工会、Café&marché Hattando、会津本郷焼事業協同組合（窯元含む）、会津つめっこ本舗

地域活動団体：NPO あいづ関山倶楽部、八木沢菜の花会／菜の花工房、会津美里西部山麓資源開拓チーム

メディア：福島民報社会津美里支局

<意向の整理> 「・」：事業者等の意向 「*」：町民の意向

A. 町の観光に対する問題意識や課題

項目	事業者等・町民の意向
A-① ビジョン、方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模であれ大規模であれ、会津美里町がどの方向で観光を進めていくのか定めてほしい。そのためには、まず「身の丈」を知ることが重要。 ・「地域のお祭り」から「誘客」へとつなげていく必要がある。 ・行政は交流人口にもっと注目し、支援するべきだ。(スポーツ少年団の交流等) ・事業の後が続かない。補助金が終わるとなくなるのではなく、ずっと自分たちで続けられることをしたい。 ・100 の事業があれば成功はほんの僅か。失敗を恐れずに進めてほしい。 ・子どもたちに町の「いいところ」が自慢できるようになってもらいたい。 ・着地型観光は大幅な利益を見込めない。 <p>*町のブランドづくり *会津美里町の知名度を上げる、会津観光の目的地となるような場所に *会津美里町は地理的に行き止まりとなっているが逆手にとって工夫を *観光のテーマを検討すべき *外国人観光客など会津若松市の観光客を会津美里町にもひっぱりたい *年間を通じた滞在型観光地の形成 *四季折々を楽しむ</p>
A-② 受け入れ環境	<ul style="list-style-type: none"> ・会津美里町を活性化させる核となる施設が必要。 ・民間の宿泊施設と張り合っても限界がある。 ・町内には眠っている施設が多くあるので、活用できないか。 ・民泊は無理があると思う。事業として実施しないと、進まない、続かない。 ・道の駅があるとよい。この辺りの人は車があるから、いい所があれば多

項目	事業者等・町民の意向
	<p>少不便な所でもどこでも行く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅ほど大規模な施設は不要だが、手頃なものを買物できる「直売所」のような施設は必要。 ・町内は観光スポットがたくさんあるが散らばっており、それぞれの場所がわかりにくいのが問題。 ・法用寺にはトイレや売店、駐車場（大型バスが駐車できない）がない。 ・町内には観光客が利用できる店がない。 ・駐車場整備と宿泊施設の確保。 ・旅行エージェントが利用できる規模の宿泊施設はほっとびあだけと言える。しかし、老朽化、キャパシティが少ない等の問題があり、使いづらい。 ・全体として、受け入れ環境（特に宿泊）の充実が課題。 ・会津坂下町は2ヶタ国道が通り、人も車も多いのに対し、会津美里町は抜ける道がなく、自動的に町にやってくることはない。 ・会津の観光の中心は、会津若松市、喜多方市、大内宿で、会津美里町はその通過地点。 ・通過型の観光ではなく、お金を落とす仕組みに。花は人気があるが、花ではお金を落とさない。 <p>＊歩いてみる観光コースづくり ＊食事をする場所、休憩処</p>
<p>A-③ 受け入れ体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は人件費の確保が深刻な課題となる。 ・観光従事者の意識改善が必要。大手旅行会社等が従業員向け研修などをやっているのので、このようなものを活用してレベルアップしてはどうか。 ・今年は合併10周年だが、まだ1つの町になりきれていない状況。旧地域が一体となった取り組みとしては、ウォーキング大会がある。 ・観光客が気持ち良くなれる、楽しく過ごせることが重要。そのために、まちぐるみでできることをやる。情報発信やおもてなし力の向上など。喜多方市に行くと楽しい。まちの人が楽しんでいる感じが伝わってくる。 ・会津美里町は、観光につながる素材を出していない、観光に慣れていない。 ・ガイドコンテストを開催し賞金をつけたら、ガイドのやる気が出るし、ガイドをやりたい人も増えるのではないか。ガイドをもっと増やすには、行政のサポートが必要。 ・「住民による観光課」を提案する。有償で観光掘り起こし隊なるものを結成し、町内のあちこちに出向く。
<p>A-④ 行政の対応、役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでも掘り出してきた観光資源について、行政が集約・共有していない点が問題。 ・観光に関しては、行政より民間が主導となるべきで、行政にはそれに必要な支援をしてほしい。 ・行政担当者は民間側にもっと顔を出してほしい。 ・行政は動きがあまりよくない。無理に平等にしようとせずに、支援する先を集中させた方がよい。 ・行政職員は町(地区)のことを知らない。ようやく理解してきたところで、異動してしまう。特に、観光については長く担当した方がよい。 ・行政は民間をもっと活用すべき。 ・観光行政担当者がよく変わるのは問題である。同じ説明を繰り返すことになる。せめて、これまでの調査結果を使い、活かすことを心掛けてほしい。 ・観光に関しては他の部署に比べて、特に経営の視点が重要である。トッ

項目	事業者等・町民の意向
	<p>ブや職員が変わっても、考え方や方向性は変わらないようにすべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光窓口となる担当者が不在（すぐに異動してしまう）。また、動きがにぶい。 ・会津地方における農泊の先進地は、喜多方市と南会津町。うまくいっている自治体は行政のフォローに差がある。
A-⑤ 情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・会津地方の情報発信はバラバラな状況。各地域がそれぞれの中の情報だけを発信しているに過ぎない。 ・会津美里町は知名度不足。 ・情報発信もできていない。 ・1割でもリピーターになれば良い。 ・外国人観光客含め、福島/会津に興味を持つ人にどうアプローチするかが重要。 <p>*他の地域の情報が分からない *町民による情報発信（タウン誌、ホームページ、FM放送等）</p>
A-⑥ 広域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・高田地域と会津坂下町は似ているイベントがあり、切磋琢磨しあって、交流も盛ん。 ・大内宿だけでなく、会津若松市ともっと連携してはどうか。 <p>*文化交流、国際交流を活発に</p>
A-⑦ 地域別（高田地域）	<ul style="list-style-type: none"> ・高田地域には観光客を受けれる店がない。 ・高田地域は、過去の合併の経緯もあり、まとまりがない（＝拠り所がない、胸を張って「本物」と言えるものがない）。今ある資源を活かしながら、戦略を持って、何かできると良いのだが。 ・高田地域は歩いて回れるような飲み屋がない。空き地・空き家がたくさんある。畑をまちなかでやるくらい大胆なことをしなければいけない。

B. 魅力資源（活用したい、活用できそうな資源）

項目	事業者等・町民の意向
B-① ニーズ・訴求力のある資源	<ul style="list-style-type: none"> ・会津地方を訪れる旅行者のニーズは「歴史、自然、花」。 ・会津美里町で売りになるのは、花（桜、あやめ、菊、紅葉）、祭り（大俵引き）、歴史文化、会津本郷焼の体験。 ・観光ガイドで人気のテーマは、①天海大僧正（龍興寺、文殊堂など）、②法用寺と中田観音（野口英世の母が月参り、ころり三観音）、③桜とアヤメ ・売りになりそうなキーワードは、まほろば街道（仏都会津）。会津坂下町、喜多方市、会津美里町と広域に広がる仏、花、食を巡る旅。 ・インバウンドについては、「酒蔵」と「温泉」がキーワードになりそうだ。 ・会津美里町といえば、伊佐須美神社。 ・「会津」は発信力のある地名。 ・会津美里町と会津坂下町の違いは、①山が近い、自然が多い、丘陵地帯②祭りが本格的で町民が一生懸命取り組んでいる。 ・「御田植祭」は国の選択無形民俗文化財に答申された。 ・毎年1月に高田地域で行われる「大俵引き」は奇祭と言われる。 ・観光資源として天海は重要。ただ、天海が誕生した地（諸説あり）ではあるが、旧会津高田町に天海はほとんど住んでいない。 ・本郷地域に来るとほっとするという観光客（会津若松市内からの来訪者含む）が多い。昔の雰囲気があるからだという。こうした面をもっと観光に活かすべきである。 <p>*蔵などの民家の街並み（守りたい風景資源として）</p>

項 目	事業者等・町民の意向
	<ul style="list-style-type: none"> * 田んぼと山に囲まれた「日本の里」風景（守りたい風景資源として） * 瀬戸町（本郷地域）の街並みを整備する * 瀬戸町（本郷地域）は裏通りを散策する人が多い * 下野街道 * イザベラバードの歩いた道 * 農を活かした魅力づくり（新鮮な食材、広い土地・畑、大きな家、食育、遊休農地を開墾して若い人を呼び込む等） * 会津本郷焼、登り窯
<p>B-② 隠れた魅力資源</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 箱清水、御田神社、古御田神社など。 ・ 蓋沼森林公園からの水田（田植えの時期）の風景がとても美しい。新聞で写真を載せたら地元含め反響が大きかった。 ・ 田んぼの風景のように、今日しか見られない風景や食べもの：地元の人でも行きたい、食べたいものがもっとあるのではないかな。 ・ ブロック塀をじゃらんかけ（土に埋められた壊れた瀬戸物）を使って揃えたら、おもしろい街並みになるのではないかな。 <p>* 雪を魅力として観光に活かす</p>

C. 活用アイデア

項 目	事業者等・町民の意向
<p>C-① ルート、パッケージ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の素材をどうつなぐかが重要。 ・ 伊佐須美神社～中田観音～会津本郷焼など、スポットを線でつなげばよいのではないかな。 ・ 本郷地域のまちなか散策（パンフレットに載っていない情報やローカルな話題の提供を観光ガイドを通して発信していく。水路、じゃらんかけ、蔵、登り窯跡など） ・ 会津本郷焼で仏様づくり→中田観音でお祓いをして家に持ち帰る。 ・ 本郷地域：焼物と町歩きのセットで観光に活かす。 ・ 会津美里町で活かせるような資源は「せと町散歩」（焼物体験込み）。せと町をパッケージにした商品は期待できる。 ・ まちの駅が点在するようになれば、小布施町ようになる。 ・ 高田地域は、清龍寺文殊堂～伊佐須美神社～横町門前町駐車場のルートがよい。 ・ 新鶴地域がワインバレーになれば、多くの観光客が訪れ、周辺を周遊する。 ・ 新鶴地域：ぶどう+法用寺+中田観音を活かす。 ・ ぶどう畑だけでなく、ワイナリーがあると良いのだが。 ・ 新鶴地域では、温泉+宿+スポーツ施設を活かし、スポーツ合宿や会議等のニーズとマッチングできるのではないかな。北塩原村では、公共施設を活用して、順天堂大学の陸上部が合宿に来ている。トレーニングに必要なトラックと勾配が決め手か。 ・ 会津美里町～下郷町～那須町～西郷村～白河市の広域マップをつくりたい。 <p>* グリーン・ツーリズムで都会への農業体験空き家情報の提供 * 中通り、浜通りからの保養プログラム誘致 * 近場の交流人口を増やす（安・近・短モデルコース） * 大学との農業体験プログラム * 観光用ポイントサービス「いいね！」の通貨化 * 会津美里町にすれば、非日常的なものが味わえる（キャンプと美味しいものとたき火、本当に暗い場所で天体観測等） * 温泉を活かした温泉セラピー</p>

項 目	事業者等・町民の意向
	<p>*本郷地域を芸術家のまちに（空き店舗利用）、芸術祭を活かす *焼物の人材を育てる取り組みの再開（家賃補助など）</p>
<p>C-② 歴史資源 (神社仏閣、城等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町は伊佐須美神社を核とした観光地づくりをもっと支援し、また観光客の受け皿となる商店街への支援をするべきだ。 ・伊佐須美神社はこれといった特徴がないので、スピリチュアルな場所としてのイメージを定着させて活用する。例えば、伊佐須美神社での挙式を海外に売り込む、御社殿再建とともに、神楽を復活/創作し、新しい文化を創る等。 ・清龍寺文殊堂は、住職が本堂でガイドしてくれるが、話が漫談みたいで面白い。 ・向羽黒山城は国内屈指の山城なので、山城ファンにアピールできるのではないか。また、当城が葦名盛氏により築城された中世は会津地方が最も栄えた時代だが、その歴史的研究が進んでいない（会津地方全体として、幕末の歴史に集中）。 ・城跡にある「御茶屋場曲輪跡」は茶道文化の名残。→「炎の郷 向羽黒山城跡 ふれあい茶会」 ・向羽黒山城跡の歴史資料室の資料は、基本的にデータ化している。 ・向羽黒山城跡は自然も豊か。見晴らしが素晴らしい。健康をテーマに活用することもできる（トレッキングなど） ・天海を観光客誘致に活用するために、天海に関心ある人の受け皿として「天海資料館」を高田地域に整備してはどうか。資料館には、ガイドが常駐し、お茶を飲めるスペース等があると良い。 ・全国の天海ゆかりの地（静岡市、川越市、日光市、台東区等）と連携して、天海サミットを実現したい。 <p>*寺院のライトアップ *人としての天海</p>
<p>C-③ 自然、風景</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会津美里町からは、3つの百名山を眺めることができる（磐梯山、飯豊山、安達太良山）。 ・ホテルが飛んでいる。県内では他に、旧北会津村や喜多方市、桑折町でもホテルが有名だが、地域によって飛び方が違うと言われている。 ・秋の紅葉は、昭和村に抜ける道が良い。 ・雪景色。 <p>*白鳥が飛来する *蓋沼森林公園 *伊佐須美の森、鎮守の森 *千本桜をPR *博士山遊歩道 *新宮川ダムの観光地化と周辺の別荘地化 *明神ヶ岳眺望の展望台化</p>
<p>C-④ 物販、飲食、特産品、 宿泊</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美里蔵は現在テナントが3店舗入っている形態だが、ひとまとまりにして、マーケットのようになっていけば良い。 ・せと市のような市を季節毎くらいにできたら良いのではないか。 ・農家レストラン。 ・会津盆地の構造が作物をおいしくしている。 ・高田地域には、オーガニック野菜の生産者が多い。 ・梅の種まくらは良いアイデアだが、デザインや消費者ニーズへの対応などは改良の余地がある。 ・新鶴温泉ほっとびあ新鶴を、犬が泊まれる宿+トリマー養成所にする。 ・山菜を皆自由に採っているが特に商売にはしていない。山形では「山菜セット」を販売している。レシピつきで人気がある。

項 目	事業者等・町民の意向
	<ul style="list-style-type: none"> * 会津若松市の七日町通りは、魚問屋を改装したホテルが大正ロマンの雰囲気である * 特産品のブランド化 * 冬も販売できる商品開発 * 「健康」を売る（発酵食品、天然酵母、未利用の山、オタネニンジン、梅の種まくら等） * 地元のおいしい食べ物がたくさんあるまちに * 「米どころ」を活かし米製品でおもてなし（薪で炊くごはん、美味しい食べ方PR、ライスフードフェスティバル等） * バザールは各地でやっているの、売り物に特徴が必要 * 町内イベントは出店者がいつも同じ * 農家レストラン、朝市、物産館 * 新鶴のぶどう、景観を活かし、ワイナリーをつくりPR
C-⑤ その他	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングは良いアイデア。 ・せせらぎ公園でドッグスポーツの大会が開催される（振興公社協力、7/19実施、県内初）。 ・町内にはIターン、Uターンで頑張っている人が大勢いる。 * かつてのまちなみ協議会を復活できないか * 空き家活用して若い作家や芸術家を集める * 移住者の受け入れ環境づくり * 観光との連携による農業の担い手育成（若者、退職者） * 地域の魅力や歴史を伝える人材の育成

3. 会津美里町の観光における動向と資源別課題の整理

町の観光の現状及び、関係者・町民の意向を踏まえつつ、＜地域（潜在観光）資源＞や＜観光資源＞の動向から、今後の観光資源創出や複合化による魅力づくりの課題を整理する。

（別表 p 64 参照）

①自然・景観の動向と課題

- ・自然資源、歴史資源、焼物等の豊かな地域資源と、温泉施設やキャンプ場等の観光施設を有している。これらは、旧町村の中心地に集積している一方、山の辺に沿う形で点在している。また、地理的に行き止まりとなっているため、これを逆手にとった工夫が求められる。

<動植物>

- ・桜やあやめはすでに観光資源として開花時期に多くの人を集めている反面、そのイベント時に歴史資源や食・物産資源などとの連携が不足しており、花だけを見る観光にとどまっている。
- ・一方、菜の花や赤そばなど季節景観として特異な地域資源は規模が小さく、まだ、十分な観光資源としての魅力に乏しいが、試行されている食の資源としての工夫等と合わせると潜在的な可能性が高く、会津美里町の特色を活かした観光資源になる可能性がある。
- ・地域固有の動植物資源については、ホテルなど季節の夜を潤す補助的な観光資源が散見される。野外活動などの場としての拠点性を支えるため、動植物資源を把握し、マップ等を作成するとともに、情報発信を行なっていく必要がある。

<風景、眺望>

- ・会津らしい優しい穏やかな季節毎の景観や眺望は会津美里町の大きな魅力であるが、磐梯山などの大きな絶景的資源と比較すれば資源評価自体は限界がある。しかしながら、厳しい冬期を含め、写真などで切り取られた絵の中では数多くの表情を見せるものとして体験的な価値をもたらし得る。従って、フォトコンテストなどと組み合わせ、情報発信していくことが町の観光の可能性を広げる一つの戦略となり得る。



あやめ苑(伊佐須美神社)

②歴史・産業・文化の動向と課題

- ・祭りやイベントは、大規模なものから地元向けの小さなものまで含めると、年間を通して各地で開催されている。ただし、地域別のものが多く、町全体のイベントは少ない。地域のイベント・お祭りにとどめずに、これらを活かし観光誘客にどう結び付けることができるのが課題と言える。
- ・町内には空き地・空き家が多く存在するので、これらを活かしていく必要がある。
- ・天海大僧正を観光に活かすことへの期待は大きいですが、平成 26 年度実施のアンケート調査によると天海大僧正の知名度は低いことから、ストーリー付けやターゲットに応じたアプローチの仕方など工夫が必要である。

<歴史>

- ・会津美里町は伊佐須美神社をはじめ歴史的資源に恵まれているが、伊佐須美神社本殿の消失により、求心力を失っている。伊佐須美神社は町の観光の要であり、予定される御社殿再建の建築形態が観光的にもインパクトが強いことから早期の完成が期待され、あわせて高田中心地域の門前町としての再構築により、一体的な観光資源として形成する努力が求められる。
- ・天海大僧正については明確な形で顕在化する資源が不足していることから観光としての対象になり得ていない現状があり、物語や PC ゲームなどへの注目度と大きなギャップがある。従って、天海大僧正の観光資源としての高い可能性を活かし、会津美里町において物語化することにより、生誕の地として広く認識されることが期待できる。

<産業・文化>

- ・会津本郷焼は東北地域を代表する焼物の産地として、せと市などで多くの集客を見ている。しかしながら、本郷地域を一つの観光地としてみた場合、日常的に訪れたり、滞在して焼物体験をするなどの魅力を有しているとは言いがたく、全体の雰囲気作りや滞在型の様々な体験メニューなど着地型観光資源としての作り込みが必要である。
- ・また、会津本郷焼の器を活かし、地域の農産物を使ったイタリア料理やワイン・日本酒と組み合わせる等のシナリオづくりが重要と考えられる。



会津本郷焼(会津本郷陶磁器会館)

③観光施設の動向と課題

- ・温泉施設、宿泊施設は年間を通して、町内外からの利用がある。年度毎の推移では近年は横ばいだが、長期的には減少傾向にある。また、各施設共に老朽化が進んでいる。
- ・会津地方の他の施設の温泉施設の入込状況をみると、近在では東山温泉、芦ノ牧温泉の大規模温泉と、会津坂下町の糸桜里の湯ばんげがある。東山・芦ノ牧を除くと、新鶴温泉の入込数は上位に位置する。
- ・せせらぎ公園オートキャンプ場の利用者数・利用件数は増加傾向で、日帰りは夏に加え秋の利用も多い。
- ・インフォメーションセンターは、本郷は変動があるものの、ほぼ横ばいで、高田は平成 22 年度の開設以降、利用が伸びている。
- ・宿泊施設の定員は 170 名程度と少なく、さらに施設の老朽化が進んでいるなど、今のニーズに対応しきれていない状況である。町内では民泊の実績も見られるが、再度導入する場合には、運営者を補い継続する仕組みが必要になる。

<温泉・公園>

- ・3 つの温泉施設があり、それぞれ分散し、集客能力も異なるが重要な観光資源であり、施設の老朽化などへの対処と合わせ、より積極的な活用方策への転換を図っていく必要がある。また、健康志向、美容志向などの時代ニーズへの適合を図りつつ、宿泊拠点拡大の契機としていく視点が重要と判断され、台東区などとの連携事業等も考えられる。
- ・性格の異なる 3 つの公園施設は、会津美里町の自然を活かした野外活動の拠点となっており、現状では低利用にとどまっているが、学校による団体利用や若いファミリー層などを中心に総合的な環境整備による拡充が期待され、また、グリーン・ツーリズム※などとの相乗効果も考えられることから関連施設間を結ぶ散策ルートなども加えた魅力を創出する必要がある。

<宿泊施設>

- ・町内には 7 軒で 170 名収容の宿泊施設と 4 カ所のキャンプ場があるのみで、観光者が期待するサービスを提供できている施設はさらに限られるため、今後の観光産業の拡充に向けては、観光活動メニューの開発とともに、質量ともに早急な充実が求められる。
- ・一方で、町内の空き店舗等の休眠施設は現状でも多く、簡易なリノベーション※による転用で宿泊施設にできる適用範囲は限定されるが、インバウンドやバックパッカー※などの需要に向けた活用なども期待できることから積極的な活用を検討すべき状況にある。

※【グリーン・ツーリズム】農山漁村地域において、自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動。農園利用、農産物加工や農作業の体験、農家レストランや農家民宿の利用など。

※【リノベーション】既存の建物の改修や設備追加により用途変更し、新たな価値を追加すること

※【バックパッカー】バックパック（リュックサック）を背負って旅する旅行者のことで、一般的に、低予算で海外を個人旅行する旅行者を意味する。

④観光客流動の動向と課題

- ・観光客の居住地は福島県内の割合が大きく、内訳では会津若松市、郡山市が多い（せと市）。県外では新潟県、首都圏からが多い。交通手段は9割以上が自家用車となっている。また、年齢層は、首都圏からは比較的若く、県内からは比較的年齢層が高い。
- ・せと市では日帰りが8割以上を占める。宿泊の場合、会津若松市内が半数以上を占め、町内はわずかとなっている。また、せと市の前後の周遊状況は、半数以上が立ち寄らずにすぐ帰る。立寄る人の多くは町外で、町内を周った人は3割に満たない。
- ・情報発信・提供については、町の観光ポータルサイトや観光マップ等各種対応しているが、観光客がほしい情報や最新情報が入手しにくい等の問題も見られる。また、やみくもに発信するのではなく、外国人観光客も含め、福島県/会津地方/会津美里町に興味を持ちそうな人にとってどうアプローチするかが重要となる。
- ・観光ガイドは好評・好調だが、高齢化している点、運営のあり方（利用料等）に課題があり、行政のサポートが求められている。
- ・高田地域、本郷地域では修景、サイン、駐車場等の整備が行われているが、観光客の回遊を促すまで至っていない。
- ・会津地方の広域連携の他、個別テーマ、都市間交流、大学等様々な交流・連携の実績があり、観光交流に一層活かすことが期待される。生活圏を共にし、会津地方の中心である会津若松市との一層の連携を望む声も多い。

<観光案内>

- ・観光案内所は本郷地域と高田地域に4カ所配置され、内2カ所は「まちの駅」とされている。鉄道駅など交通結節点の拠点性が低く、今後、新鶴地域を含め、まちの駅としてのネットワークを高めるため、地元主導の運営管理を担保しつつ、観光拠点への適切な配置を進めていく必要がある。

<観光交通インフラ>

- ・車での来町に対応した6カ所の駐車場は、現状の利用に対しては一定の充足を見ているが、高田地域などでのイベント時の利用や回遊動線に対する配置など改善されるべき箇所もあり、今後、鉄道駅を中心とした二次交通への対応など観光交通の体系的な見直しが求められる。



まちの駅 焼物体験の駅

⑤食・物産の動向と課題

- ・平成 26 年度実施のアンケート調査によると、旅行を決めるポイントは「食べ物、温泉、自然」で、首都圏は「癒し」「お酒」の関心が高く、これらは会津美里町の資源やイメージと関連するテーマと言える。
- ・土産物等の物販施設や産直施設は 3 地域に 1 施設ずつ設置されているが、観光客が利用しやすい状況には至っていない。通過型の観光ではなく、滞在時間を延ばし経済的な効果を生むには、道の駅や直売所、飲食できる場所など、観光客が利用できる店舗等が必要となる。
- ・観光スポットが点在しており場所がわかりにくいことから、サインや物販・休憩施設の整備等、個人で歩いて周遊できる環境づくりが求められている。

<食>

- ・農業における一次産品は、会津美里町の恵まれた土壌や水質、気候などにより、水稻をはじめ野菜や果物などに加え、オタネニンジンやえごまなどの健康食品があり、食用及びワイン用のぶどうを含め、いずれも観光との結びつきが期待されるが、現段階では一次産業の枠内にとどまっており、今後、六次産業化とともに観光との連携が求められる。

<物産>

- ・物販施設は、全町的な対応が求められるとともに、まちの駅などと連携して特色ある施設によるネットワーク拡充も重要となる。



ぶどう農園

⑥受け入れ体制の動向と課題

- ・行政の担当者の異動による弊害が指摘されている。観光は経営の視点が重要であるため、トップや職員が変わっても、ぶれずに施策や事業を推進する体制が求められている。少なくとも、過去に整理あるいは検討・調査した情報を集約・共有し、活かす必要がある。
- ・町がどの方向で観光を進めていくのかが問われている。
- ・現在の振興公社は、委託業務以外に、観光事業の企画・営業をするための人員・費用がない状況である。よって今後は、経営の視点を持って戦略的に継続し町の観光を推進する体制づくりが必要である。
- ・合併から10年になるが、まだ1つの町になりきれておらず、町民・職員含め、他地域のことを知らないことが多い状況である。観光においては、観光客が気持ち良く、楽しく過ごせることが重要であることから、おもてなし力の向上など、まちぐるみでできることを推進しながら、一体感を醸成していくことが期待される。

<人材>

- ・会津美里町の観光を担う人材が不足していることから、地域内外からの人材の登用と併せ、様々な研究会等の活用などにより、地域資源を磨き上げ発信するとともに、様々な事業の立ち上げを担う人材の登用・育成を図る必要がある。また、このような観光を担う人の顔が見える情報発信を図っていく。

<組織体制>

- ・様々な主体が横断的に参加し、町の観光を継続的に推進する観光プラットフォーム組織(DMO)※の構築が求められる。

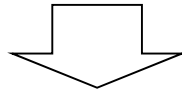
※【観光プラットフォーム組織(DMO)】 観光に関わる様々な主体が参加する横断的な組織で、町の観光に関する事業を企画・実施するとともに、地域と消費者をつなぐ受け入れ窓口機能を担う。すなわち、観光地域づくりを推進するプラットフォーム型の観光まちづくり組織であるDMO(Destination Management/Marketing Organization)を意味する。



地域住民の参加による伝統行事（御田植祭）

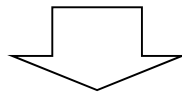
■地域／観光資源の現状と活用の課題

	地域(潜在観光)資源	観光資源	観光資源の顕在化	観光資源の複合活用
①自然・景観資源	フジ、蓮	桜、あやめ		・花の時期の複合イベント
	菜の花、赤そば		・農と食の観光資源化	
	<動植物> 蓋沼の浮島、モリア オガエル、ホタル		・会津美里町の動植物マップづくり	
	<風景、眺望> 冬期積雪時の風景	四季折々の田園風景 会津の山並み、丘陵 眺望、街道、水際	・フォトコンテストの実施による価値の再発見と情報発信	
②歴史・産業・文化資源		天海大僧正	・天海大僧正を顕在化するソフト、ハード	・リアルとバーチャルの連携
		伊佐須美神社	・伊佐須美神社の再建	・伊佐須美神社と横町 門前町の一体的な再構築
		中田観音など	・縁起の回遊ルート化	
	イザベラバード、戊辰戦争跡地、殺生石 稲荷神社など		・潜在的歴史資源の物語化	
		会津本郷焼	・焼物の里づくり	・農と食と器の組み合わせ
③観光施設資源		新鶴温泉など	・施設のリニューアルによる立ち寄り／滞在拠点化	・民間、姉妹都市との連携事業での活用
		宿泊施設	・空き施設、空き屋の活用	
④観光客流動(観光インフラ資源)		観光案内	・まちの駅ネットワークの拡充	
		観光交通インフラ	・駐車場の適正配置 ・鉄道の観光資源化 ・二次交通手段の提供	・サイクリング観光
⑤食・物産資源		ぶどう等 地場農産物	・地元農産物の六次産業化	・ツーリズムの展開
		物産販売施設	・物産販売拠点の整備	
⑥受け入れ体制(観光人材資源)		観光関係者	・観光を担う人材の顕在化	
		観光組織		・観光プラットフォーム組織(DMO)づくり



【会津美里町の観光の現状】

- イベントを中心とした観光。
- 豊かな地域資源、個別の取り組みが見られるが、地理的に分散しており、またそれらの支援や相互に結びつける形になっていない。
- 基本的な受け入れ環境が未整備の状況。
- こうした状況から、町内を周遊する観光客は少ないが、神社仏閣や桜をめぐるツアー客はある程度見られる。
- 観光が収益事業に結びついていない(無料で利用できる観光ガイド等)。
- 町外からの来訪者が少なく、また来訪者の多くは会津若松市等の近隣都市が中心。
- 近隣に大型観光地が立地しているが、町内に呼び込めていない。
- 町内における観光専門家の不在。



【会津美里町の観光の課題】

- ① 町の観光の方向性の設定
- ② 観光客を受け入れるための基本的な施設やサービスの整備(宿泊施設、飲食・物販施設、域内交通、駐車場、情報提供)
- ③ 会津美里町の魅力を活かした、来訪者が感動して何度も訪れる観光プログラムづくり
- ④ 町の観光を担う経営的な視点をもった新たな推進体制の構築
- ⑤ 来訪者に楽しんでもらうための観光従事者のおもてなし力の向上
- ⑥ 町民への周知と参加
- ⑦ 広域連携を活かした効果的なPR